

令和6年度 教 育 要 覧



町政施行 80 周年記念歩み編さん事業
「和泊町の歩み」令和6年5月刊行

和泊町教育委員会

和 泊 町 民 憲 章

わが和泊町は、先人の残したかがやかしい歴史とうるわしい伝統を持っています。
わたくしたちは和泊町民であることに誇りと自覚を持ち、みんなで住みよい町をつくるため次のことを行います。

- 1 わたくしたち和泊町民は、よく働いて、豊かな町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、きまりを守って、明るい町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、心をあわせて、美しい町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、心と身体をきたえ、健康な町をつくります。
- 1 わたくしたち和泊町民は、子どもの幸福を守って、伸びゆく町をつくります。

(昭和43年1月制定)

< 目 次 >

和泊町民憲章・目次	1	教育関係予算	49
町章・町民歌	2	奨学資金特別会計	50
教育の町宣言	3	学校給食センター概要	51
地勢・沿革	4	(生涯学習係)	
教育委員会の沿革と概要	5	事務分掌	53
略地図及び学校位置	18	令和6年度 主要事業	57
教育行政の基本方針	19	生涯学習を推進するための施設等	58
教育行政のグランドデザイン	20	施設利用状況	60
教育行政の重点施策	21	令和5年度 公民館講座の開設状況	61
歴代教育長及び教育委員	34	令和6年度 公民館講座の開設状況	62
行政機構	37	町立図書館利用状況	63
(学校教育係)		指定文化財	64
事務分掌	38	附属機関	65
教育委員会事務局座席配置図	41	関係団体	66
各学校校訓及びキャッチフレーズ、			
研究テーマ	42		
学年・教科担当一覧表	43		
教科・領域等研修会の組織と年間計画	44		
学校(園)の実態	46		

< 町 章 >



明治百年記念として昭和43年1月に制定された。「和泊」を「輪」と「鞠」におきかえ、輪は和・団結を、鞠は弾力・飛躍をあらわす。小円はゆりのおしべの色から希望・歓喜をあらわし、大輪は海の色から悠々・信頼をあらわしている。

町 民 歌

山口 喜慶 作詞
武田 恵喜秀 作曲

♩ = 112ぐらい

(一) し ら ゆ り は わ た し の こ こ ろ し ら ゆ り は あ な
(二) あ か つ ち に ゆ め ほ り お こ し くろ し お に さ ち
(三) あ お ぞ ら を かけ ゆ く の ぞ み あ お ぞ ら を い ろ

た の す が た さ い て - さ い - て さ き ひ ろ が ろ う ひ と
お い な が ら の び て - の び - て の び ひ ろ が ろ う ひ と
ど る り そ う け い と - あ い - の み ち つ ら ぬ こ う ひ と

の わ の か お り も た か く この わ ど ま り に せ か い の ま ど に
の わ の の み り は た つ し この わ ど ま り に せ か い の ま ど に

和泊町民歌

作詞 山口 喜慶
作曲 武田 恵喜秀

一、白百合は わたしの心

白百合は あなたの姿

咲いて咲いて咲きひろがろう

人の和の 香りも高く

この和泊に 世界の窓に

二、赤つちに夢ほり起し

くる潮に 幸追いながら

伸びて伸びて伸びひろがろう

人の和の 根ざしも強く

この和泊に 未来の園に

三、青空を かけゆく希望

青空を いろどる理想

敬と愛の道つらぬこう

人の和の みのりは確か

この和泊に われらの郷に



教育の町宣言

第 40 回町制施行記念の年にあたり、沖洲の歴史をふりかえり、和泊町発展の基を教育におき、町民の総意を結集して、家庭教育、学校教育、社会教育の充実振興を図るとともに、町民相互の連帯感を深め、子どもたちの健全な育成に努め、明るく豊かな町づくりに専念するため、ここに教育の町の宣言をする。

- 1 正常で充実した明るい学校教育の進展をはかる。
- 1 保育所と幼稚園の綿密なる連携をはかり、幼児教育の充実を図る。
- 1 温かい血の通い合う家庭教育を推進する。
- 1 主体的な活力のある子ども会の育成を図る。
- 1 教育環境の浄化をはかり明るく健全な町づくりをする。
- 1 励まし合い学び続ける生涯教育の振興充実を図る。
- 1 互いに手を取り合い協力し合って教育に当たる。

昭和 55 年 3 月

< 地 勢 >

和泊町は、鹿児島市の南南西 540 k m の洋上に浮かぶ沖永良部島（周囲 55.8 k m、面積 93.65 k m²）の東北部、北緯 27° 23′ 32″，東経 128° 39′ 20″ に位置し、年平均気温は 22 度である。

知名町と隣接し、南は太平洋、北は東シナ海に面し、東北に徳之島、南西に与論島・沖縄を見ることができる。

総面積は 40.37 k m²、隆起サンゴ礁でおおわれた平坦な地形で、中央に古成層からなる越山（188.6m）があるのみで、耕地には恵まれている。

海岸線は変化に乏しく、港湾条件に恵まれていない。道路は、循環道路をはじめ、町道・農道が全域にわたり整備されている。

< 沿 革 >

沖永良部島は今から約 600 年前、琉球の北山王国の支配下に入り、世之主が統治していたと言われている。その後琉球王国の領域になったが、慶長 14 年（1609 年）に薩摩藩が琉球王国に侵攻し、大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島を琉球王国から分割して直轄地にした。

元和 2 年（1616 年）徳之島に代官所がおかれ、本島と与論島も治めた。島内の行政区画は琉球時代にならって、島内を三間切にして、与人 3 人に統治させた。元禄 3 年（1690 年）徳之島から分立して代官所を本島に置き、与論島も含めて治めていた。この制度は約 180 年間続き、明治 2 年（1869 年）在藩所に改められた。

薩摩藩は、直轄地になった奄美に砂糖政策を取り入れて、島民にさとうきびを栽培させ、砂糖を年貢として納めさせて、金銭の使用を禁じ、1830 年以降砂糖を勝手に売れないようにして専売制度を実施し、徹底的な植民地政策をとってきた。

本島では、文久 2 年（1862 年）島津久光の怒りにふれた西郷隆盛が、元治元年（1864 年）に召還されるまでの 1 年 6 か月の間、謫居していた。その間、島の子どもたちを教育し、道徳を教え、為政者には政治の要諦をさとし、さらに飢饉に備えて社倉法を教えるなど、教育と島利民福を図り、現在の町民性の基盤を培った。明治 3 年（1870 年）南洲翁の提唱による社倉が設立され、凶年に備えて食糧を貯蔵し、生活救助と食料貸付を主とした共済機関として顕著な成果をあげた。明治 32 年（1899 年）に解散したが、その資金は町の基金財産となり、その余沢は今日に及んでいる。

明治 41 年（1908 年）4 月、島嶼町村制が実施され、和泊村と知名村に区分されたが、昭和 16 年（1941 年）5 月町制が施行されて和泊町になった。

教育委員会の沿革と概要

年	月	沿 革 の 概 要
昭和27年	2月	琉球列島国民政府令66号により琉球教育法公布
〃	7月	赤地 信 初代教育長就任
		 自 昭和27年 6月 1日 至 昭和31年 9月30日 (4年4か月在職)
昭和28年	12月	奄美大島日本復帰に伴う文部省関係政令の適用の暫定措置に関する政令施行
昭和29年	12月	国頭小学校鉄筋ブロック 2階建校舎落成
昭和30年	7月	和泊小学校鉄筋校舎新築落成（現役場敷地）
昭和31年	4月	和泊町立第二中学校から城ヶ丘中学校へ校名を変更
〃	4月	内城小学校鉄筋ブロック校舎落成
〃	9月	城ヶ丘中学校ブロック造り便所落成
〃	10月	和泊中学校第一期工事北校舎落成
〃	10月	武田 恵喜光 第2代教育長就任
		 自 昭和31年10月 1日 至 昭和33年 1月31日 (1年4か月在職)
〃	11月	城ヶ丘中学校ブロック造り畜舎落成
昭和32年	3月	和泊中学校第二期工事南校舎落成
〃	4月	和泊町立第一中学校，和泊町立第三中学校が統合して現在地点に和泊中学校として発足
〃	10月	和泊中学校と和泊小学校で完全給食実施
〃	12月	大城小学校鉄筋ブロック校舎落成
昭和33年	2月	肥後 業昭 第3代教育長就任
		 自 昭和33年 2月 1日 至 昭和35年 6月18日 (2年4か月在職)
〃	3月	城ヶ丘中学校鉄筋校舎落成
〃	4月	国頭小学校温食実施
昭和34年	6月	和泊小学校鉄筋校舎落成・移転（現和泊小学校敷地）
〃	8月	和泊小学校鉄筋校舎第二期工事5教室新築落成
〃	8月	和泊小学校鉄筋校舎第三期工事5教室新築落成

年	月	沿 革 の 概 要
昭和34年	12月	国頭小学校電話開通
昭和35年	1月	和泊小学校東校舎5教室新築落成
〃	2月	内城小学校噴水池及び発電室設備工事完了
〃	3月	城ヶ丘中学校簡易水道施設完成，内城小学校校内水道及びタンク，手洗い施設等完成
〃	4月	国頭小学校完全給食実施
〃	7月	内城小学校南スタンド建設
〃	9月	朝戸 国善 第4代教育長就任
		 自 昭和35年 9月 1日 (8年在職) 至 昭和43年 8月16日
昭和36年	3月	内城小学校仮校舎増築
〃	5月	城ヶ丘中学校給食調理室落成
〃	6月	和泊小学校水道施設工事完了
〃	10月	城ヶ丘中学校完全給食実施
〃	11月	国頭小学校校門並びに観察池新築
昭和37年	3月	大城小学校給食室落成，内城小学校給食室（鉄筋ブロック建）落成
〃	9月	和泊中学校引込上水道竣工及び運動場拡張
〃	11月	国頭小学校鉄筋ブロック平屋建給食室十五坪新築
昭和38年	2月	和泊中学校第三期建築普通教室百坪（四教室）落成
〃	3月	城ヶ丘中学校校舎建築第二期工事完了
〃	5月	和泊小学校校地裏新校舎敷地拡張，国頭小学校鉄筋ブロック校舎新築
昭和39年	2月	内城小学校鉄筋ブロック校舎六教室及び宿直室と西側ブロック塀落成
〃	3月	和泊小学校裏校舎三教室，宿直室新築落成
〃	4月	和泊町体育協会結成
〃	5月	国頭小学校電源室新築
〃	9月	城ヶ丘中学校自転車置き場完成
〃	10月	国頭小学校オリンピックスタンド完成
〃	12月	和泊中学校技術室落成
昭和40年	1月	和泊小学校新校舎新築落成（普通教室，図工室，図書室）
〃	4月	僻地保育所と改称（和泊，大城，内城，国頭）
〃	6月	和泊中学校体育館落成
〃	9月	城ヶ丘中学校裏門側校舎拡張
〃	10月	城ヶ丘中学校放送施設設置
〃	12月	城ヶ丘中学校校門東側壁復旧工事完了
昭和41年	3月	和泊中学校給食室完工

年	月	沿 革 の 概 要
昭和41年	4月	和泊中学校北側校庭排水溝完成・海岸堤防竣工・国頭小学校鉄筋ブロック平屋建校舎（特別教室）・便所新設・北側ブロック壁完成，城ヶ丘中学校体育館落成 中央公民館開館（現町立図書館駐車場）
〃	8月	内城小学校給食ボイラー設備完成
〃	9月	内城小学校水槽ボイラー設備完成
〃	10月	第1回町民体育大会開催（和泊中グラウンド）
〃	12月	城ヶ丘中学校別棟校舎落成
昭和42年	4月	国頭小学校給食室重油施設完成
〃	8月	大城小学校水道工事完了
〃	9月	和泊小学校全学級テレビ取付け
昭和43年	2月	和泊中学校新校舎落成（理科室・音楽室等五教室）
〃	8月	町田 実美 第5代教育長就任  自 昭和43年 8月17日 (8年2か月在職) 至 昭和51年10月 5日
〃	12月	和泊小学校校門工事完成
昭和44年	2月	和泊小学校体育館落成
〃	3月	国頭小学校北側ブロック壁完成
昭和45年	2月	和泊中学校二階校舎（88坪）竣工（美術室，金工室）
〃	4月	町立の4幼稚園（和泊，大城，内城，国頭）認定発足
〃	6月	和泊中学校校庭西側スタンド完成
〃	9月	内城小学校木造校舎（四教室）撤去
〃	10月	大城小学校百メートルコース完成
〃	12月	城ヶ丘中学校プール完成
昭和46年	2月	国頭幼稚園新園舎落成
〃	4月	和泊中学校校庭夜間照明工事完成
昭和47年	1月	第1回新春駅伝競走大会開催
〃	3月	各小中学校 センター方式導入のため給食室閉鎖
〃	4月	各小中学校 町立学校給食センターによる給食開始
〃	11月	和泊中学校各教室に電灯設置・テニスコート二面完成 国頭小学校体育館落成
昭和48年	3月	大城小学校体育館落成
〃	8月	和泊中学校二号校舎に扇風機取付け
昭和49年		和泊町青少年団育成協議会結成（平成元年和泊町子ども会育成連絡協議会に改称）
〃	6月	和泊中学校一号校舎・印刷室に扇風機取付け
〃	9月	内城小学校舞台幕取付け・放送設備完備・体育館落成
〃	10月	第9回町民体育大会より字別対抗形式となる

年	月	沿 革 の 概 要
昭和49年	12月	和泊中学校体育館ステージ幕取替え
昭和50年	4月	和泊幼稚園新園舎落成
		派遣社会教育主事配置開始
"	6月	大城小学校体育館便所完成
"	7月	和泊中学校運動場拡張
"	9月	内城小学校給食コンクリート置台及び岩石園移転
昭和50年	11月	大城小学校岩石園・焼却炉完成
昭和51年	2月	国頭小学校二階南側窓枠アルミサッシに取替え・体育館水道施設・裏門ガードレール完成
"	3月	大城幼稚園新園舎落成
"	6月	国頭小学校百メートルコース完成・夜間照明灯四基設置・VTR設置
"	10月	関 正 第6代教育長就任
		 自 昭和51年10月 6日 (8年2か月在職) 至 昭和59年12月20日
"	10月	大城小学校夜間照明施設完成
"	12月	和泊町文化協会結成
昭和52年	3月	和泊町民体育館落成（現役場庁庭）
		第1回町文化祭（後に町民文化祭）開催（平成12年文化と福祉の祭典となる）
"	4月	内城小学校運動場夜間照明工事完了
"	9月	沖永良部台風により各学校被害甚大
		西郷南洲顕彰会結成（平成6年和泊西郷南洲顕彰会に改称）
"	11月	大城小学校簡易駐車場完成
"	12月	内城小学校体育館倉庫竣工（災害）
昭和53年	2月	内城小学校旧給食室改装工事完了学校図書館として移転
"	3月	内城幼稚園廃園（保育所設置のため）、国頭小学校体育館便所完成
		和泊町スポーツ少年団結成
"	8月	内城小学校国旗掲揚台・飼育舎完成
"	9月	和泊幼稚園足洗い場設置
"	11月	城ヶ丘中学校第二グラウンド完成
"	12月	和泊小学校図書館落成
昭和54年	3月	内城小学校便所新築工事完了、和泊幼稚園新園門落成
"	5月	大城小学校校門改築工事完了、和泊小学校学習農園を設置
"	8月	大城小学校放送室改装・南校舎前の水道施設・校地南東部のブロック壁工事完了
"	9月	内城小学校ちり焼場釜工事完了
"	10月	和泊中学校第二号校舎・第三号校舎のサッシ工事着工、内城小学校学習農園ビニールハウス新設

年	月	沿 革 の 概 要
昭和55年	2月	城ヶ丘中学校プレハブ四棟（第二グラウンド，更衣室，倉庫）設置
〃	3月	内城小学校プレハブ校舎新設
〃	5月	和泊町立図書館開館
〃	7月	大城小学校北校舎理科室窓枠アルミサッシ切替え
〃	10月	和泊中学校特別教室サッシ工事完了
〃	11月	和泊中学校プール完成
〃	12月	和泊小学校体育館舞台幕新調
昭和56年	2月	大城小学校西便所落成
〃	3月	大城小学校電気改装工事完了
〃	6月	和泊中学校テニスコート（四面）完成
昭和56年	8月	内城小学校北側擁壁工事・サッシ取替え工事完了
〃	10月	和泊中学校サッシ取替え工事完了
昭和57年	1月	和泊中学校技術室シロアリ被害天井補修
〃	2月	大城小学校アルミサッシ窓枠・西便所排水・体育館屋根塗り替え，国頭小学校旧給食室を改造して「なかま」教室として活用，城ヶ丘中学校第二グラウンド倉庫設置
〃	3月	城ヶ丘中学校給食調理室を改装して図書館として活用
〃	7月	内城小学校校舎南側窓サッシ工事完了
〃	9月	和泊小学校全教室磁石黒板取替え完成
〃	10月	内城小学校夜間照明灯修理
〃	12月	和泊町研修センター落成・開所
昭和58年	3月	国頭小学校プール完成
〃	9月	和泊中学校国旗掲揚台完成
〃	10月	城ヶ丘中学校職員室東側～用務員室渡り廊下完成，和泊小学校国旗掲揚台完成
昭和59年	4月	指導主事配置開始
〃	7月	和泊町四小学校越山研修センターにおいて宿泊研修「自然教室」実施
〃	8月	城ヶ丘中学校第二グラウンド夜間照明施設工事完了，和泊小学校プール完成
〃	11月	内城小学校体育館入り口改装工事完成
〃	12月	重信 初雄 第7代教育長就任
		 自 昭和59年12月21日 至 昭和63年12月20日 (4年在職)
〃	12月	内城小学校用務員室南側サッシ工事完了
昭和60年	1月	国頭小学校鉄筋コンクリート建体育倉庫完成（災害）
〃	3月	城ヶ丘中学校体育倉庫フェンス工事完了
〃	4月	大城小学校ため池埋め立て校庭拡張
〃	9月	国頭小学校校門改修

年	月	沿 革 の 概 要
昭和61年	3月	内城小学校特別教室（家庭科室）落成
〃	5月	内城小学校放送室冷却装置取付け
〃	7月	大城小学校プール完成
〃	8月	和泊小学校渡り廊下及びコンテナ台新設・東校舎床張り替え，和泊中学校体育館サッシ入れ替え並びに塗装
〃	9月	国頭小学校渡り廊下屋根取付け（トイレ），和泊小学校ちり捨て場新設
〃	11月	国頭幼稚園事務室落成
昭和62年	3月	和泊中学校給食置場完成
〃	6月	和泊中学校自転車置場の増設及び技術室前の橋の補強・排水路の防護柵の取付け
〃	7月	内城小学校プール完成
〃	8月	国頭小学校渡り廊下屋根取付け（理科室，用務員室），和泊中学校渡り廊下の屋根取付け（二号校舎から二階校舎入口まで）及び二階校舎入口前の補強
〃	9月	和泊中学校理科室実験台設置
昭和63年	1月	和泊中学校校長室電話設置
〃	3月	和泊中学校OHP用スクリーンの取付け（技術室・被服室・音楽室）
〃	4月	和泊中学校一号校舎と便所間の屋根の取付け，通路の拡張舗装完成，国頭小学校パソコン設置（1台，PTA寄付）
〃	7月	和泊中学校体育倉庫完成
〃	8月	和泊小学校理科室拡張工事及び旧給食室撤去，和泊幼稚園園庭拡張
〃	12月	大山 安弘 第8代教育長就任
		 自 昭和63年12月21日 至 平成 4年12月20日 (4年在職)
平成元年	3月	和泊小学校南側スタンド整地及び視聴覚室新築落成
〃	4月	大城小学校西側屋根付き渡り廊下完成 「和泊の子」表彰始まる
〃	8月	国頭小学校渡り廊下屋根取付け（職員室，印刷室），大城小学校体育倉庫竣工，和泊中学校のバックネット裏のブロック壁完成，自転車置場バックネット裏通路の舗装
〃	10月	和泊中学校体育館の放送設備の完備
〃	11月	和泊小学校パソコン取り付け21台設置
平成2年	1月	和泊中学校体育館・職員室に校内放送のスピーカー設置及び三号校舎前の渡り廊下の屋根取付け，国頭小学校水道工事完了
〃	3月	大城小学校北側トイレ改修工事完了
〃	5月	和泊小学校体育館新設落成
〃	6月	内城小学校チャイム時計取付け
〃	7月	内城小学校全学級に扇風機取付け
〃	7月	国頭小学校全学級に扇風機取付け
〃	8月	国頭小学校百メートル出発地点擁壁工事・体育館屋根塗装工事完了

年	月	沿 革 の 概 要
	9月	和泊中学校体育館屋根の塗装
	10月	国頭幼稚園窓枠アルミサッシ取替え
	12月	和泊中学校体育館の床一部張り替え
平成3年	1月	国頭小学校国旗掲揚ポール取替え、和泊中学校三号校舎渡り廊下の屋根延長（技術室前）
	2月	和泊中学校東側校庭の拡張、大城小学校一年渡り廊下完成
	2月	和泊小学校西門工事完成、大城小学校家庭科室完成・校庭排水路工事・放送施設一式新設、和泊中学校校門の塗装と門札の取替え及び全校舎の耐力度検査実施、城ヶ丘中学校パソコン室完成・パソコン22台設置
	5月	和泊中学校自転車置場改築
	7月	大城小学校飼育舎完成、国頭小学校小鳥小屋増設、給食コンテナ台改修
平成3年	8月	国頭小学校教室床張り替え（五の一）
	10月	大城小学校体育館床張り替え・便所完成、内城小学校理科室設備（実験台取付け）
	12月	国頭小学校池改修工事完了
平成4年	2月	大城小学校校門より歩道完成（校舎側）、国頭小学校町旗掲揚ポール増設、内城小学校体育館屋根塗装
	3月	和泊中学校普通教室をパソコン教室・パソコン22台設置に改修、国頭幼稚園玄関新設
	4月	和泊中学校水道再配管工事完了
	9月	国頭小学校テラス増設、国頭幼稚園水洗トイレ化
	12月	西村 金藏 第9代教育長就任
		 自 平成 4年12月21日 至 平成 8年12月20日 (4年在職)
平成5年	2月	国頭小学校パソコン室の設置（パソコン17台）
	3月	大城小学校校門より歩道完成（体育館側）国頭小学校照明灯補修・管理棟・北校舎周囲の側溝蓋設置工事・管理棟出入口にテラス取付け・西トイレ窓ガラスのサッシ化工事・用務員室・炊事場工事窓ガラスサッシ化工事完了、和泊中学校体育館落成
	4月	国頭小学校図書館を北校舎へ移動・拡張工事完了
	5月	和泊幼稚園小鳥小屋新設
	6月	城ヶ丘中学校プール循環装置点検始動
	8月	和泊中学校正門・プールフェンス改修、グラウンド海側側溝工事、国頭小学校パソコン室及び図書室にクーラー設置、城ヶ丘中学校教室床張り替え及び図書室の冷房工事・体育館屋根（板金）補修、和泊中学校図書室クーラー取付け完了
平成6年	2月	内城小学校パソコン教室及びパソコン10台設置、大城小学校パソコン教室及びパソコン15台設置
	3月	大城小学校体育館前面塗装工事完了、国頭幼稚園スライディングウォール（保育室間仕切り）設置、城ヶ丘中学校自転車・歩行用道路校門完成

年	月	沿 革 の 概 要
平成6年	4月	大城幼稚園外壁塗装・トイレの水洗化
〃	6月	第1回和泊町小学校交流体験学習事業（鹿大教育学部附属小学校）
〃	7月	内城小学校プレハブ仮設校舎及び体育館仮設教室設置・旧校舎解体
平成7年	3月	内城小学校木造新校舎落成
〃	4月	和泊町校外指導連絡協議会結成
〃	7月	城ヶ丘中学校旧校舎解体
平成8年	3月	城ヶ丘中学校新築校舎落成
〃	7月	A L T（BEATTIE, DWAYNE）の採用開始
平成8年	12月	竿田 富夫 第10代教育長就任
		 自 平成 8年12月21日 (9年3か月在職) 至 平成18年 3月31日
平成9年	3月	国頭小学校新校舎落成，公立学校優良施設文部大臣賞受賞（平成10年度）
〃	4月	大城小学校「人権の花」運動校指定，和泊町歴史民俗資料館開館
〃	6月	城ヶ丘中学校創立50周年記念式典
〃	8月	大城小学校旧校舎解体
〃	11月	内城小学校創立100周年記念式典，第1回和泊小・中音楽発表会開催，第1回和泊町子ども議会開催
平成10年	5月	移動博物館和泊町会場開催（県立博物館）
〃	6月	和泊町民吹奏楽団「シーブルー」結成
〃	7月	大城小学校新校舎落成（9年9月起工），町民運動広場落成
〃	8月	日本フィルハーモニー交響楽団演奏会（文化庁子ども芸術劇場）
〃	11月	大島地区生涯学習和泊大会開催
〃	12月	大城小学校・国頭小学校創立100周年記念式典
平成11年	5月	文化庁伝統文化教育推進事業指定（町内全小中学校）
〃	8月	武田恵喜秀先生追悼演奏会開催，子供放送局設置
〃	9月	県秀作美術展実施
平成12年	3月	ふれあい文流施設（相撲場）完成，越山テニスコート照明施設完備
〃	5月	青少年のための芸術鑑賞会（邦楽鑑賞）
〃	6月	大島地区青年大会（和泊町）
〃	7月	少年少女国際交流派遣事業（内城小・和中卓球，中国）
〃	8月	沖永良部自然体験村開所
〃	12月	和泊中学校新校舎落成，公立学校文教施設協会賞受賞（平成14年度），中央公民館創立50周年・図書館創立20周年記念式典 探究的な考え方や課題解決能力などを育てる「総合的な学習の時間」始まる
平成13年	1月	文部省指定「伝統文化教育」発表会
〃	3月	スポーツ国際交流（町内小学校スポーツ少年団サッカーチームを中国へ派遣，和泊中女子バレーボールチームを台湾へ派遣）

年	月	沿 革 の 概 要
平成13年	3月	町教育講演会（講師 島田俊秀先生）
〃	5月	町制施行60周年記念式典，青少年問題協議会・青少年育成町民会議
〃	7月	芸術文化総合体験（東京混声合唱団公演）
〃	10月	和泊小学校校舎建築現場から不発弾発見，処理
〃	12月	国際スポーツ交流（台湾，和泊中女子バレー部）
平成14年	4月	総合型地域スポーツクラブ（元気！わどまりクラブ）発足
〃	5月	第1回町学力向上推進委員会開催，教友会「回顧録」創刊号発行
〃	6月	学校評議員制度始まる 新学習指導要領に基づく新教育課程実施・授業時数の削減と総合学習の完全実施 学校週5日制実施 和泊小学校教育棟・管理棟新校舎落成
〃	7月	第56回県体第43回大島地区大会開催（ラグビー会場）
〃	8月	国際スポーツ交流（卓球 本町で）
〃	10月	第1回スポーツ振興審議会開催，第6回子供議会開催
平成15年	2月	西郷南洲顕彰会創立25周年「記念碑」除幕式
〃	3月	和泊小学校新校舎竣工，公立学校文教施設協会賞受賞（平成16年度）
〃	4月	国頭小学校「人権の花」運動指定校
〃	6月	Vリーグ堺ブレイザーズ「バレーボール教室開催」
〃	6月	ふるさとを興す教育・食料・環境地区別学習大会（和泊町）
〃	7月	大島地区学校給食運営連絡協議会（和泊町）
〃	8月	国際スポーツ交流（韓国 サッカースポ少）
〃	10月	和泊町星の観察「スタークラブ」発足
〃	11月	県PTA活動委嘱公開（和泊町） 日韓共同未来プロジェクト国際交流事業（町内スポーツ少年団サッカー・空手，町内中学校バレーボール・中学校野球の各チームを韓国へ派遣，韓国中学校野球合宿受入れ）（平成18年度まで）
平成16年	3月	宇宙飛行士若田光一氏「宇宙講演会」
〃	4月	幼保一元化（大城こども園）
〃	5月	「復帰運動の記録と体験記」発行
〃	7月	子育て実践体験モデル地区指定（出花，大城，瀬名，国頭）
〃	7月	国際スポーツ交流（韓国 空手道児童等24名）
〃	8月	中学生講演会（講師 名島清行氏「未来へはばたけ」）
〃	11月	地域住民のためのコンサート（N響金管五重奏）
〃	11月	市町村による青少年劇場（東京金管五重奏）
平成17年	2月	シンポジウム「中世沖永良部の世界」後蘭孫八城跡調査報告
〃	4月	教育委員会事務局機構改革（総務課と生涯学習課を統合し，教育委員会事務局として発足）
〃	7月	みやまふれあいコンサート
〃	8月	国際スポーツ交流（韓国 中学校男女バレーボール 20名）
〃	8月	子ども体力実践事業全国発表

年	月	沿 革 の 概 要
平成17年	11月	文化省指定小中連携教育研究公開（城中校区）
平成18年	4月	逆瀬川 勝久 第11代教育長就任
		 自 平成18年 4月 1日 (12年6か月在職) 至 平成30年 9月30日
	4月	「郷土で育てる肝心」事業開始
	6月	オリンピック金メダリスト「鈴木大地選手」水泳教室
	7月	「チャレンジ！われは海の子わらんちゃ」外洋遠泳大会
	8月	国際スポーツ交流（韓国 中学校野球21名）
平成19年	1月	国際スポーツ合宿受入（韓国 中学校野球2校）
	6月	奄美文化財保護対策連絡協議会（和泊町）
	7月	特別支援教育講演会
平成20年	4月	研修センター指定管理者制度へ
	5月	大島地区社会教育委員の会
	9月	第1回郷土伝承芸能大会
	10月	町民運動能力調査
平成21年	3月	大城幼稚園廃園
	5月	学校施設耐震化診断終了
	9月	学校ICT環境整備事業導入
平成22年	7月	大島地区ジュニア・リーダー養成研修（和泊町）
	8月	鹿児島県地方青少年相撲錬成大会
	11月	学校施設耐震化100%達成
	12月	町テニスコート完成（ヤーシチ公園）
平成23年	6月	大島地区子ども会育成連絡協議会総会（和泊町）
	7月	西郷南洲記念館（和泊町歴史観光交流館）開館
	7月	道徳教育総合支援事業（文部科学省）和泊町委託
	9月	和泊中学校旧体育館解体
	9月	第1回「月見で野あしび」開催（文化協会主催）笠石野外ステージ
	10月	南日本新聞社との新聞活用等に関する協定締結
	11月	町制施行70周年記念式典
平成24年	2月	和泊町教育推進基本計画策定
	6月	ふるさとを興す大島地区地域女性連保健福祉学習大会（和泊町）
	7月	スクールソーシャルワーカー活用事業（県教育委員会）和泊町委託
	11月	文部科学省委託道徳教育総合支援事業研究公開
	11月	西郷南洲翁遠島150周年記念事業
	11月	大島地区教育委員会連絡協議会総会（和泊町）

年	月	沿 革 の 概 要
平成25年	2月	北方領土返還要求運動学習会（和泊町）
〃	6月	大島地区文化協会連絡協議会理事会（和泊町）
〃	7月	スクールカウンセラー配置事業（県教育委員会）和泊町委託
〃	8月	第1回カラオケ大会開催（連合青年団主催）
〃	10月	奄美群島日本復帰60周年記念文化と福祉の祭典開催
〃	11月	移動博物館「博物館がやってきた」開催（県立博物館）中央公民館
平成26年	3月	「自然の家がやってきたin和泊町」開催（奄美少年自然の家）町民体育館
〃	3月	新学校給食センター落成（完全ドライシステム化）4月7日から給食提供
〃	10月	宝くじ文化公演「萩咲く頃に」開催
平成27年	2月	越山運動広場駐車場トイレ完成
〃	3月	和泊幼稚園給食搬入口完成
〃	3月	幼保一元化（国頭こども園）国頭幼稚園廃園
〃	4月	土曜授業開始（毎月第2土曜日）
〃	4月	和泊幼稚園給食（週2回）実施
〃	10月	島内実力テスト第1回実施
〃	11月	第30回国民文化祭・かごしま2015開催（和泊町4事業）
〃	11月	わどまりの歴史めぐり・フォトコンテストinおきのえらぶ
〃	11月	風景画コンテストinおきのえらぶ・郷土芸能の祭典inおきのえらぶ
〃	12月	「えらぶ世之主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト（今帰仁村の子どもたちとの交流）開始 土曜授業実施（年9回第2土曜日）により授業時数増
平成28年	5月	えらぶ世之主没後600年記念事業開催（5～11月）
〃	5月	鹿児島県家庭教育学級研修会（和泊町）
〃	6月	小学校4校合同交流学习（6・10月）
〃	7月	大島地区読書指導者等研修会（和泊町）
〃	8月	和泊中学校あかね文化ホール空調施設大規模改修工事
〃	9月	文化協会設立40周年記念「月見で野あしび」
平成29年	1月	役場新庁舎建設に伴い町民体育館解体
〃	5月	役場新庁舎建設に伴い教育委員会事務所を中央公民館へ仮移転
〃	8月	第16回遊学塾in沖永良部島
〃	11月	天皇皇后両陛下御来校（国頭小学校）
〃	11月	ふるさとおこしリーダー育成講座（11・12月）
平成30年	3月	地域振興推進事業（越山運動広場芝生植付け・東屋整備・高倉の復元）
〃	8月	給食センター民間委託から直営管理
〃	9月	西郷どん音楽祭（手々知名 フーヤ屋敷跡）

年	月	沿 革 の 概 要
平成30年	10月	竹下 安秀 第12代教育長就任（新教育委員会制度による初の教育長を任命）  自 平成30年10月 1日 (現 職) 現在に至る
	10月	第3回全島ヤッコ踊り大会（あしびの郷・ちな）
	12月	第59回大島地区駅伝競走大会（和泊町）
	12月	国立国語研究所と方言継承等に関する連携・協力に関する協定締結
平成31年	1月	役場新庁舎竣工開庁式
	1月	役場新庁舎へ教育委員会事務所移転
	2月	移動図書館（リリリー号）購入
	3月	劇団四季公演 小中学生無料観賞（あしびの郷・ちな）
	4月	中央公民館 旧議会棟へ移転 旧議会棟部分改修
令和元年	6月	奄美群島文化財保護対策連絡協議会総会研修会（和泊町）
	8月	Vリーグ「ジェイテクトSTING」バレーボール教室開催
	11月	中央公民館まなびいほーる完成
	12月	古墓調査シンポジウム(和泊・知名町合同開催)「沖永良部島のツール」
令和2年	3月	各小学校・幼稚園普通教室に空調設備整備
	3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止による小中学校臨時休業
	5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止により各小中学校修学旅行延期
	8月	新型コロナウイルス感染症対策として研修センターの施設整備 (研修棟改修・多目的ホール天井張替・トイレ改修・屋上防水工事)
	8月	中央公民館(まなびいほーる)防水工事
	9月	学校評議員制度に代えて学校運営協議会（コミュニティスクール）制度始まる
令和3年	3月	鹿児島県地域を照らす再生可能エネルギー事業によるLED街路灯設置2基 (和泊中・城ヶ丘中)
	3月	GIGAスクール構想により全児童生徒に1人1台の情報端末を整備 (ネットワーク環境整備を含む)
		新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催中止又は延期になった主な行事
		公民館講座合同開講式・さつき相撲大会・チャレンジデー2020・大島地区大会・大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会・町民体育大会・全島ヤッコ踊り大会・島唄の響演・成人式・花の島沖えらぶジョギング大会
	4月	町政施行80周年に伴う「歩み編さん事業」の開始
	5月	給食費の銀行口座からの振替開始
	9月	和泊町立図書館1階郷土資料室に歩み編さん室設置

年	月	沿 革 の 概 要
令和4年	2月	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用 和泊中学校グラウンド夜間照明器具取替工事
"	3月	和泊町立和泊中学校体育館LED改修工事 和泊町立和泊小学校体育館LED改修工事
"	3月	和泊町立小中学校GIGAスクールサポーター業務委託 教育情報セキュリティポリシー策定
"	4月	和泊町地域おこし協力隊DX先生（ICT支援員）配置 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用
"	7月	町内各小中学校体育館に大型扇風機設置
"	9月	町内各小中学校フィルタリング導入
"	9月	学校給食費免除（9月～3月分） 学校ホームページ環境整備（3月）
"	11月	文化の祭典・島唄の饗演
令和5年	1月	「二十歳のつどい」（成人年齢が18歳に引き下げられたため改称）
"	3月	ワランチャアシビ処整備事業大城小・内城小遊具設置
"	3月	大城小学校プール塗装工事
"	4月	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用 学校給食費免除（令和5年度分）
"	7月	「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」和泊町炬火リレー
"	11月	小中学校校務用パソコン購入
"	12月	和泊町学校施設バリアフリー化整備計画策定
"	12月	ワランチャアシビ処整備事業 内城・国頭小学校遊具設置
令和6年	3月	和泊小学校プール改修工事
"	5月	「和泊町の歩み」刊行
"	9月	「和泊町の歩み」刊行報告会

略地図及び学校位置

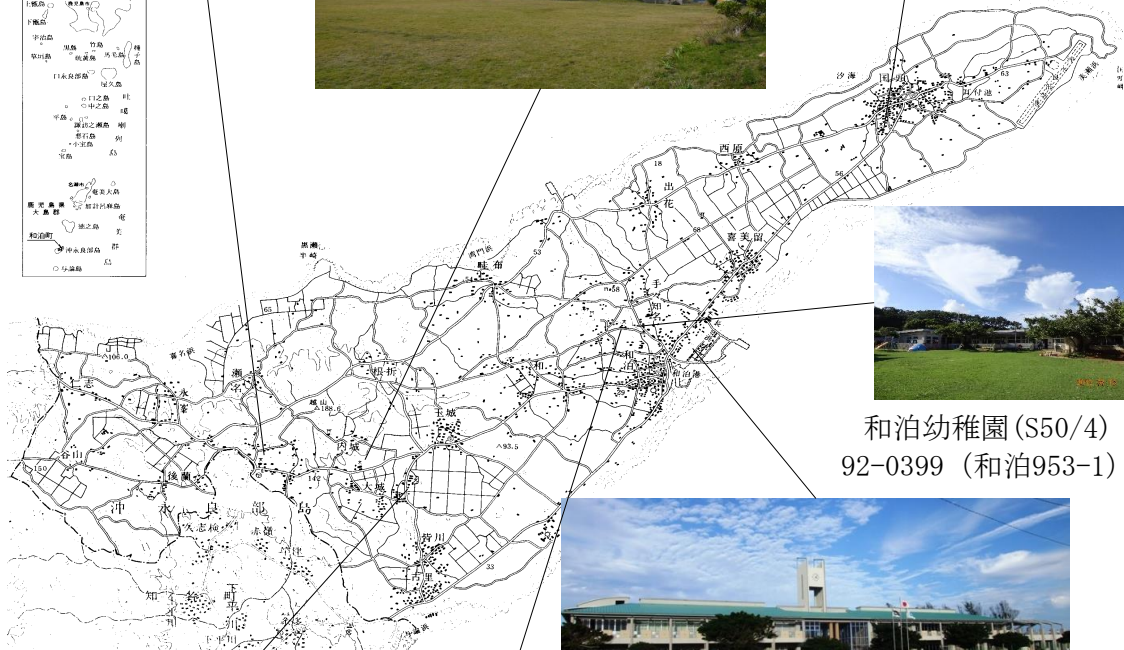
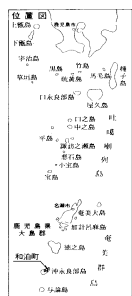
内城小学校 (H7/3)
92-0076 (内城516-1)



国頭小学校 (H9/3)
92-0301 (国頭2904)



城ヶ丘中学校 (H8/3)
92-0302 (内城130)



和泊幼稚園 (S50/4)
92-0399 (和泊953-1)



和泊中学校 (H12/12)
92-0030 (手々知名130)



大城小学校 (H10/7)
92-0075 (大城650-1)



和泊小学校 (H15/3)
92-0004 (和泊920-1)

令和6年度 教育行政の基本方針

本町の教育は、日本国憲法及び教育基本法の理念、鹿児島県教育方針、大島地区教育行政の教育目標に基づき、本町の「和泊町教育振興基本計画」を踏まえ、国際化・少子高齢化・高度情報化など変動する社会に即応できる能力の開発を行い、心身ともに調和のとれた人間の育成に努めます。

平成27年度に設置された「総合教育会議」を軸に、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、関係機関との連携強化を図り、本町教育の一層の振興を図ります。

具体的には、以下の5項目を重点課題に、なお一層の教育行政の充実を推進します。

1 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

基本的な生活習慣を身に付け、法やきまりを遵守し、適切に行動できる人間を育てることが重要です。

本町は、西郷隆盛が遠島された際に「敬天愛人」の教えを拓いた地として有名で、その教えが脈々と受け継がれてきています。変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく上で必要な他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力をはぐくむ教育を推進します。

土曜授業の効果的活用により、一人一人が達成感を味わい学習意欲の喚起を図るための学びの場の拡充を推進します。

2 社会で自立できる生きる力をはぐくむ教育の推進

子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくために、基礎・基本を確実に身に付けるとともに、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する能力（生きる力）をはぐくむ教育を推進します。

また、本町で継承されてきた伝統文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養い、望ましい勤労観・職業観を身に付けさせます。

さらに、情報教育や環境教育などの社会の変化に対応した教育や特別支援教育など、子どもの状況に応じた教育の推進にも取り組みます。

3 開かれた学校・信頼される学校づくりの推進

学校の教育活動を適正に評価するため、保護者・地域住民等から学校教育に対して幅広く意見を聴くことにより、開かれた学校づくりを推進します。

また、学校運営を充実させ、教職員の資質向上や安全・安心な環境づくりなどを通して、信頼される学校づくりを推進します。

さらに、小規模校の「よさ」を生かした教育活動の充実を図りつつ、教育効果が上がるよう小・中一貫教育を推進します。

4 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進

教育の振興には、地域の担う役割は大きいものがあります。

本町は、伝統的な地域行事等が数多く受け継がれてきていて、子どもたちを地域で育てるという風土が、現在でも残っています。

今後も、すべての町民が地域社会全体で子どもを守り育てるための取組を推進します。

5 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興

町民が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で学べる環境づくりを目指します。

スポーツ活動は心身両面にわたる健康の保持増進に必要なものであり、また、郷土の伝統文化や文化財を守り育て様々な芸術に親しむことは、ふるさとの理解や豊かな感性の涵養に必要なものであることから、スポーツや文化の振興を図ります。

令和6年度 和泊町教育行政のグランドデザイン

～ 3年間(令和4年度～令和6年度)を見据えた教育の姿 ～

1 基本目標

あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり・文化づくり

目指す人間像

1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現をめざす人間

2 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間

2 和泊町らしい教育

「ふるさとに誇りをもち、たくましく生きる力をはぐくむ教育」

キャッチフレーズ(めざす和泊町の子ども像)

わ

和の心をもち、

ど

努力の精神を養い、

ま

前向きに、

り

凜として生きる子ども

1 意欲と向上心、チャレンジ精神、志をはぐくむ教育

2 郷土の伝統や文化を知り、郷土の先人に学ぶ教育(肝心の教育)
ちむぐる

3 社会の変化に対応した教育(ICT活用教育・英語教育・プログラミング教育)

3 重点課題と施策

1 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

- 1 道徳教育の充実
- 2 生徒指導の充実
- 3 人権教育の充実
- 4 体験活動の充実
- 5 読書活動の充実
- 6 食育の推進
- 7 体力・運動能力の向上
- 8 健康教育・安全教育の充実

2 社会で自立できる生きる力をはぐくむ教育の推進

- 1 確かな学力の定着
- 2 特別支援教育の充実
- 3 進路指導・キャリア教育の充実
- 4 郷土教育・伝統文化教育の推進
- 5 幼児教育の充実
- 6 社会の変化に対応した教育の推進

3 開かれた学校・信頼される学校づくりの推進

- 1 学校運営の充実
- 2 教職員の資質向上
- 3 安全・安心な学校づくり
- 4 教育環境の整備・充実
- 5 小規模校教育の振興

4 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進

- 1 地域ぐるみでの子どもの育成
- 2 家庭及び地域の教育力の向上

5 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興

- 1 社会教育・生涯学習の推進
- 2 社会体育の推進
- 3 芸術・文化活動の推進
- 4 文化財の保護・活用

令和 6 年度 教育行政の重点施策

1 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく上で必要な他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力をはぐくむ教育を推進します。

小学校は令和 2 年度(2020 年度)から、中学校は令和 3 年度(2021 年度)から新学習指導要領が全面実施となりました。道徳科(特別の教科 道徳)の実施や小学校 3, 4 年生で外国語活動, 5, 6 年生で外国語科が始まり, さらに 1 人 1 台端末を活用した令和の学びの『スタンダード』を掲げる GIGA スクール構想の実現等, 社会の変化や国際化に対応できる人間づくりの育成に努めます。

1 道徳教育の充実

道徳の時間(道徳科)を要として学校の全教育活動を通じ, 児童生徒が自己の生き方を考え主体的な判断の下に行動し, 自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の育成に努めます。

- (1) 心の教育の基盤としての道徳教育推進による豊かな人間性の育成
 - 「心の教育の日」, 「いじめ問題を考える週間」(4 月, 9 月)における道徳科や特別活動等の年間指導計画への位置付けと実施
- (2) 教育活動全体を通じた道徳教育推進による道徳的な判断力, 心情, 実践意欲と態度の育成
 - 道徳教育全体計画(別葉含む)に基づいた全教育活動を通じた計画的な指導の推進
 - 「郷土の先人」, 「続・郷土の先人」等の指導計画への位置付け及び「肝心の教育」との関連
 - 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習の重視, 特別活動等での道徳的実践の場の計画的な設定
- (3) 道徳科の目標・内容を踏まえた教育課程の編成と指導・評価方法等の工夫による道徳教育の充実
 - 道徳の教科書に基づく年間指導計画(ねらいと中心発問や活動等を含む展開の概要を記載したもの), 学級における指導計画の作成と他教科・領域や体験活動との効果的関連(地域の人材活用)
 - 授業参観での道徳科の授業公開
 - 道徳性の伸長を適切に評価する評価方法の研修の実施及び指導要録等への適切な評価

2 生徒指導の充実

「チーム学校」として全職員一致の生徒指導体制を確立し, 家庭・学校・地域社会及び関係機関との緊密な連携を深め, それぞれの教育力を高めるとともに, 心身ともにたくましい思いやりのある児童生徒の育成に努めます。

- (1) 児童生徒一人一人に達成感や成就感を実感させる学習指導や学級経営の推進
 - 魅力ある学校づくり(不登校が生じないような学校づくり)の推進

- 自己指導能力育成のための発達支持的生徒指導の推進
- 自尊感情、自己肯定感を高める指導の工夫、「かけがえのない存在」と考える児童生徒観、「見つめ（認め）、励まし、支える」教師の関わり
- (2) 児童生徒が新しい時代を切り拓くための確かな学力を育成することを目指した学習者主体の授業づくり
 - 学習意欲や学び方を重視した授業づくりの積極的推進
- (3) いじめや不登校、問題行動への早期対応と学校・家庭・地域・関係機関等の連携推進及び総合的な相談体制の充実
 - 和泊町いじめ防止基本方針に基づく、いじめ防止等に関する組織の機能化
 - 学校いじめ防止基本方針に基づいた取組
 - ・ 定期的なアンケート調査等によるいじめ等の積極的な認知
 - ・ いじめ防止等の対策の組織的な対応（中核となる生徒指導委員会等）
 - 不登校未然防止のための対策
 - ・ 学校・保護者、関係機関等が連携した「チーム学校」としての組織づくり
 - ・ 年間を通したアンケート（「学校楽しいと」等）の実施による未然防止と早期対応
 - ・ 学校とＳＣ，ＳＳＷの連携による個に応じた粘り強い支援と解決の糸口の検討
 - 治療的・予防的・育てる教育相談体制の確立と実施（園・学校，教委，ＳＳＷ，ＳＣ，関係機関等の連携強化，義務教育９年間を見通した指導）
 - 携帯電話等，インターネット，ＳＮＳ利用に関する児童生徒への指導の徹底と保護者への啓発

3 人権教育の充実

教職員の人権意識を高めるとともに、人権意識の啓発の視点に立った授業に取り組み、児童生徒の人権意識の高揚を図ります。

- (1) 人権教育全体計画・年間指導計画に基づく人権同和教育の推進
 - 人権週間及び人権同和问题啓発強調週間、ハンセン病問題、北朝鮮人権侵害問題啓発週間等を正しく理解する週間等における取組の強化
 - 学習活動のねらいや内容等を記入した年間指導計画作成と計画に基づく授業の実施
 - 人権教育に関する項目を入れた学校評価の実施と評価に基づく改善
- (2) 教職員等の人権についての基本姿勢に立脚した授業の実践
 - 人権尊重の視点に立った各教科等の研究授業・授業研究の実施
 - 参加・体験型学習を積極的に導入した授業の実践
- (3) 人権意識を高める校内研修の充実
 - 人権意識を高める校内研修の毎学期の実施
 - 人権同和教育学習資料『陽だまり「なくそう差別 築こう明るい社会」』を活用したねらいに応じた学習や参加型研修の実施

4 体験活動の充実

地域や関係機関等と連携して体験活動の充実を図り、児童生徒の豊かな心をはぐくみます。

- (1) 体験活動の教育課程への適切な位置付け及び体験活動の指導の工夫・改善

- 活動内容（指導計画）の見直しと指導の工夫・改善
- 体験活動充実のための各種事業及び教育・文化施設の積極的活用
- 土曜授業日の効果的活用
- (2) 関係機関等との連携による地域の教育力を生かした体験活動の推進
 - 地域・学校の特色を生かした農業体験活動等の実施
 - 人材リストの整備・改善
- (3) 伝統行事や異年齢交流活動などの体験を通した学びに向かう力や人間関係構築力の育成
 - 伝統行事や異年齢交流活動などでのふれあい活動の推進
 - 家庭での手伝いや地域での勤労・奉仕活動等を通した学びを人生や社会に生かそうとする資質の醸成

5 読書活動の充実

学校図書館の充実や関係機関と連携した読書活動を推進し、読書を通じて、児童生徒の豊かな心をはぐくみます。

- (1) 読書意欲を高め読書力を養うための指導の充実
 - 読書週間や読書月間等の取組の工夫
 - 児童会活動・生徒会活動などによる主体的な読書活動の推進
- (2) 学校図書館の充実による日常の読書活動の推進
 - 学校図書館の設営や日常的な取組の工夫
 - 教科等の年間指導計画に基づく学校図書館の利用
- (3) 全校体制による朝読書の推進
 - 全校一斉の朝読書の実施（児童・生徒，教師）
- (4) 家庭・地域と連携した読書活動の推進
 - 読書ボランティアや親子読書会と連携した読み聞かせ等の読書活動の実施
 - 学校図書館と町立図書館との相互利用の促進（移動図書館の積極的活用）
 - 家庭での読書の奨励（読書デー等の設定・実施）

6 食育の推進

「早寝・早起き・朝ご飯」運動，給食における地産・地消の推進等を通して，「食」に関する知識と「食」を選択する力を身に付け，健全な食生活を実践することができる児童生徒の育成を図ります。

- (1) 食育年間指導計画に基づいた望ましい食習慣の形成
 - 給食の時間を中心とする食に関する指導の充実
 - 食育に関する校内研修の実施
- (2) 栄養教諭を核とした食に関する指導の充実及び給食管理・衛生管理の徹底
 - 栄養教諭を活用した食に関する授業の指導計画への位置付けと実施，評価
 - 給食の時間における衛生管理の徹底
 - さとうきび・ジャガイモ・米づくりなどの農業体験活動の実施
- (3) 学校給食関係者の資質向上及び郷土に学ぶ食農教育の推進
 - 学校給食センターの効率的な運営

- 地場産食材を活用した安心安全で栄養バランスのとれた魅力ある学校給食の提供
- (4) 家庭と連携した食育の推進
 - 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の確実な実態把握による組織的な推進
 - 学校保健委員会等での保護者への啓発
 - 食に関する個別的な相談・指導（食物アレルギー，肥満，偏食等）

7 体力・運動能力の向上

体力・運動能力調査等による児童生徒の体力・運動能力の的確な把握に基づく，一校一運動，教科体育や体育的行事等の充実を図るとともに，各種団体等との連携を推進することを通して，児童生徒の体力・運動能力及び意欲の向上に努めます。

- (1) 体力の向上を目指す「楽しい授業」の充実
 - 教科体育（学習過程の工夫・改善），業間体育，体育的行事等の充実・改善
 - 体育科指導力向上のための研修会の実施
 - 中学校における外部人材の積極的な活用による武道学習の充実
- (2) 体力・運動能力調査等による的確な実態把握と「一校一運動」や「体力向上推進計画」の作成及び実践
 - 体力・運動能力調査等の実施と分析結果の共有（職員研修，学校保健委員会等）
 - 調査結果を踏まえた「体力向上推進計画」の作成
 - 生涯にわたる運動習慣の基礎（意欲・態度・技能）の確立
 - 運動の日常化の促進（徒歩通学の奨励，「体力アップ！チャレンジかごしま」への積極的取組（小・中学校），「外遊びの日」の設定と実施，「体力ナビ」の効果的活用等）
 - 家庭・地域と連携した体力づくりの推進（「親子で取り組む一家庭一運動」等）
- (3) 部活動，スポーツ少年団活動等の充実・改善
 - 小体連記録会，中体連大会の充実・改善
 - 適切な運動部活動等の運営と指導者の資質向上

8 健康教育・安全教育の充実

養護教諭部会や医師会，薬剤師会，保健所等との連携による健康診断や環境検査の実施，感染症への対応，学校保健に関する行事の実施など健康教育や安全教育の推進を図ります。

- (1) 関係機関と連携した健康教育や健康診断の推進
 - 健康診断結果に基づく事後措置（治療や生活改善）の徹底
 - 計画に基づいた性教育，喫煙防止・薬物乱用防止教育（薬物乱用防止教室），がん教育等の実施
 - 感染症の予防の徹底と感染拡大の防止
- (2) 危険予知，危険回避能力育成を目指した安全教育の推進（KYT）
 - 「自転車条例」を含めた交通安全教育，防災教育の学級活動への位置付けと実施
 - 大雨洪水・火災・地震・津波等を想定した避難訓練や KYT の実施
- (3) 学校保健委員会，町学校保健委員会の充実
 - 実態を踏まえた研究テーマや共通実践事項等の設定と取組（歯と口の健康及び肥満予防，望ましい睡眠の重点化）

2 社会で自立できる生きる力をはぐくむ教育の推進

子どもたちが将来の予測が難しいこれからの社会を生き抜いていくために、生きて働く知識・技能を習得し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力をはぐくみ、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を涵養する教育を推進します。

1 「確かな学力」の定着

「主体的・対話的で深い学び」を目指す学習過程の改善や充実を図り、家庭と連携・協力しながら確かな学力の定着を目指します。

(1) 学力向上プランの策定と充実・改善

- 全教職員による学力向上プランの作成とプランに基づいた学力向上の取組
- 年間を見通した計画と実践、定期的な見届けとプランの見直し（PDCA サイクル）

(2) 学力向上の基盤としての学級経営・学業指導の充実

- 基本的学習習慣の形成と小中連携による系統的・継続的な指導
- 子ども一人一人の興味関心や能力に応じたきめ細やかな授業や補充指導の充実
- 音読，暗唱，視写，漢字，計算等の学習の基盤となる基礎的な力の習得の徹底
- 土曜授業日の有効活用による確かな学力の育成

(3) 学力向上を目指した授業の工夫・改善

- 「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善
- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し活用する学習活動の推進
- 各教科等の学習の基本となる言語活動の充実（特に「書く活動」の充実）
- 日常的に I C T 機器（P C，デジタル教科書，情報端末等）を活用した分かりやすい授業の展開
- 「かごしま学力向上支援 Web システム」等を活用した諸学力検査の結果分析と分析結果の授業への反映
- 良問（鹿児島学習定着度調査や全国学力・学習状況調査の過去問題，「かごしま学力向上支援 Web システム」上の各教科重点問題等）への計画的な取組
- 複式学級の学習指導法の研究及び全校態勢による効果的な授業支援
- 学びの連続性・学力の積み上げを図る学年間，学校間の指導方法・評価方法の共有化

(4) 校内研修等の充実による指導法の改善

- 一教師一研究授業の確実な実施と授業改善
- 校内研修や一教師一研究授業等での外部講師（指導主事等）の計画的活用
- 共通実践及び指導力向上につながる授業研究の実施（ワークショップ型授業研究の実施）
- 授業を通した小中連携研究会（部会）の充実による指導法の改善
- 小中高の連携による系統的な指導の充実（島内実力テスト，沖永良部教科研究会の充実）
- 沖永良部秋季教育研究大会，地区指定研究等の研究成果を生かした取組の推進
- 各学校における学力向上推進委員会の充実

(5) 家庭における学習の充実

- 「家庭学習 60・120 運動」による学習習慣の確立（家庭学習強調週間の設定と実施）

- 授業と連動した家庭学習課題，発達段階や個に応じた家庭学習課題の提示と見届け

2 特別支援教育の充実

関係機関との連携を図りながら指導や就学支援の体制を整え，すべての幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を推進します。

- (1) 教職員の専門性や指導力の向上
 - すべての教職員の専門性や指導力の向上を図る校内研修や特別支援教育研修会の実施
 - 特別支援教育支援員の計画的・効果的な活用
- (2) 校内教育支援委員会と連動した計画的な就学相談の充実
 - 特別支援教育コーディネーターを核とした校内委員会の毎学期の実施
 - 本人・保護者との丁寧な合意形成など，年間を通した計画的な就学相談の実施
 - 個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成と活用
 - 移行支援シートの作成と各種引継ぎ資料を活用した切れ目のない支援の実現
- (3) 町特別支援教育連携協議会と教育支援委員会の充実
 - 大島特別支援学校，町療育センター，町保健センター等との連携による支援体制の充実
- (4) 「障害者差別解消法」に基づく合理的配慮や基礎的環境整備の提供・充実
 - 研修等によるインクルーシブ教育システムの理解促進
 - 特別な支援を必要とする児童生徒の実態や学校の状況に応じた合理的配慮の提供及び基礎的環境整備の促進

3 進路指導・キャリア教育の充実

小・中学校9年間で踏まえた進路指導・キャリア教育を推進し，「志（夢）」をもった児童生徒の育成に努めます。

- (1) 小・中学校9年間で踏まえた夢をはぐくむ進路指導・キャリア教育の推進
 - 「島内実力テスト」の実施による，確かな実態把握に基づく生徒の目的意識・学習意欲の醸成，適切な進路指導への活用
 - キャリア教育の年間指導計画に夢や目標をもつための活動の位置付け（「キャリアパスポート」の活用）
 - 他校種の進路指導・キャリア教育の内容確認と小・中連携したカリキュラム作成
- (2) 学級活動を中心とした生き方指導としての進路学習の推進
 - 指導計画に基づく進路学習の時間の完全実施と改善
- (3) 特別活動を中心とした教育活動全体での進路指導・キャリア教育の推進
 - 進路指導・キャリア教育全体計画の作成と計画的な取組
 - 中学生と母校をつなぎ，6年生対象に夢や努力の現状を交流し合う「ようこそ！先輩」の推進
- (4) 職場体験活動等を通した望ましい職業観や勤労観の育成
 - 商工会等との連携による職場体験活動の充実

4 郷土教育・伝統文化教育の推進

郷土のよき教育風土を生かした教育に取り組み，児童生徒に郷土愛，祖先を敬い父母を大事にする心などを育てます。

- (1) 郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土を興す態度の育成
 - 郷土教育全体計画に基づく取組の実施
 - 「かごしまジュニア検定」受検の積極的推進
- (2) 「郷土で育てる肝心（心の教育）」の推進（西郷南洲翁の教え、えらぶゆり栽培の歴史、えらぶ世之主伝説、茶道の実践）
 - 歴史観光交流館（西郷南洲記念館）、歴史民俗資料館及びえらぶ世之主関連遺産群等を活用した「郷土で育てる肝心（心の教育）」の充実
- (3) 伝統文化教育（島唄・島ム二等）の継承（いつでも・どこでも・だれでも・踊れる・唄える・語れる子どもの育成）
 - 島唄・島ム二等の教育課程への位置付けと実施
 - 伝統文化教室外部講師を活用した活動の推進

5 幼児教育の充実

人間教育における幼児教育の重要性を踏まえ、幼稚園教育要領に即した教育課程の編成・実施を進めるとともに、個に応じた指導の充実を意図し、教職員の資質を高め、幼稚園教育の充実に努めます。

- (1) 幼稚園教育要領に基づいた、園児の実態に応じた教育課程の編成・実施
 - 自己評価、学校関係者評価等に基づく教育課程の見直し・編成
- (2) 自然体験・社会体験を豊富にし、豊かな人間性をはぐくむ保育計画の策定・実施
 - 遊びを通じた活動の充実（非認知スキルの醸成）
 - 園児同士、園児と教師等のかかわりの十分な確保
 - 基本的な生活習慣の確立
 - 言葉の活動の充実
- (3) 幼稚園・こども園・保育園と小学校との連携強化
 - 園児と児童とのふれあい活動の充実
 - 両町合同保育研修会、町保育研修会の充実による指導力向上
 - 幼稚園・こども園・保育園と小学校との移行支援シート等を活用した連絡会・研修会の実施による連携の強化
 - スタートカリキュラム、アプローチカリキュラム等の実施による小1プロブレムの解消
- (4) 保護者への啓発の推進
 - 保護者との連携による就学前教育の推進
 - 保育参観等を通じた保護者の幼稚園教育に関する理解の促進
 - 保健福祉課、こども未来課、社会福祉協議会等との連携による就学前教育の指針の策定

6 社会の変化に対応した教育の推進

情報教育、環境教育、福祉・ボランティア活動、国際理解教育、消費者教育、金融教育、主権者教育等、現在の社会の要請に応える教育を推進します。

- (1) 情報教育、環境教育、福祉・ボランティア活動、国際理解教育、消費者教育、金融教育、主権者教育等の推進
 - 全体計画の作成と計画的な取組

- 情報モラルやネットトラブル等についての認識や対処法を学ぶ研修会の実施
- (2) 外国語活動や国際理解教育の充実
 - 小学校外国語科の目標・内容を踏まえた教育課程の編成と指導・評価方法等の研修の実施
 - A L T等の効果的な活用及び小学校外国語活動・外国語科と中学校英語科との効果的連携
- (3) 各種教育に関する情報収集，関係機関との連携による効果的な推進
 - 各種研修会への積極的な参加と研修内容の還元

3 開かれた学校・信頼される学校づくりの推進

学校運営の充実を図り，保護者・地域住民等に関かれた学校づくりに努めます。また，教職員の資質向上や安全・安心な環境づくりなどにも取り組み，信頼される学校づくりに努めます。

1 学校運営の充実

学校の教育活動を適正に評価するため，保護者・地域住民等を学校運営協議会委員として委嘱し，学校教育に対して幅広く意見を聴くことにより，開かれた学校づくりを推進するとともに，学校経営改善の充実を図ります。

- (1) 学校評価や学校運営協議会委員による評価等を活用した学校運営の改善
 - 学校の教育課題を保護者や地域住民と共有し，それぞれの役割を生かし，課題に的確に対応できる学校運営協議会や関係機関の充実・機能化
 - 学校の自己評価や学校関係者評価等からの意見・提言の学校運営への反映
 - 学校運営協議会についての理解・啓発活動
- (2) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間における取組の充実
 - 保護者・地域住民への広報活動の工夫改善
 - 授業参観や学校開放に係る行事の内容充実
 - 訪問者の感想・意見・提言の集約と学校運営の工夫・改善
- (3) 地域住民とのふれあい活動の積極的推進
 - 伝統行事等でのふれあい活動の推進
- (4) 積極的な情報発信
 - ホームページの運用・管理計画の作成と定期的な更新
 - メールやブログ等の即時性を生かした広報活動の推進
 - 教育活動の新聞への積極的な投稿等による広報活動の充実

2 教職員の資質向上

教育の動向や教育課題を踏まえ，各種研修会の開催や人事評価制度を通して，教職員の資質向上に努めます。

- (1) 学校経営の充実
 - 適切な教育課程の編成・実施と校務分掌の機能化
 - 児童生徒の的確な実態把握と教育課題の設定

- 教育目標の具現化のための重点目標や到達目標の設定と評価活動
- 管理職研修会の改善・充実
- (2) 職員研修の充実
 - 校内研修や各種研修会・研究会の内容・運営についての改善・工夫
 - 沖永良部秋季教育研究大会への主体的な取組
 - 大型ディスプレイ・情報端末・デジタル教科書等の I C T 機器の活用能力を伸ばす研修の充実
 - 教育センター短期研修・移動講座や研究公開等への積極的参加
 - 個人研究の奨励（教育実践記録への積極的応募）
- (3) 服務規律の厳正確保
 - 年間を見通した（適時性を考慮した）計画的な指導の実施（校内研修計画への位置付け）
 - 個々の職員の実態に応じた個別指導の徹底
 - 不祥事防止強化月間（8 月，12 月）の取組の充実
 - 学校運営協議会（信頼される学校づくりのための委員会）での服務規律に関する協議の実施
- (4) 適正な人事評価の実施
 - 業績評価，能力評価の実施による職員の職務遂行上の意欲，能力，実績等の公正評価
 - 人事評価を通じた組織内での協働意識の醸成，学校組織の活性化（チーム学校）

3 安心・安全な学校づくり

児童生徒が安心して学べるための体制作りや施設・設備の整備に努めます。

- (1) 施設・設備の確実な点検整備・補修
 - 定期的な安全点検と迅速な補修，対応
- (2) 「危機管理マニュアル」に基づく安全体制の確立
 - 緊急事態発生時の連絡体制の整備と周知
 - 校内安全マップ等の見直し及び共通理解
- (3) 家庭・地域・関係機関との連携による通学路の安全確保
 - 通学路交通安全プログラムの策定とプログラムに基づいた取組（町ホームページ掲載）
 - スクールガード・リーダーを中心とした登下校の見守り・指導
 - 通学路点検の実施と補修・改善

4 教育環境の整備・充実

教育環境の整備・充実に向けて，教育活動の工夫改善を図り，信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進に努めます。

- (1) 年次計画に基づいた施設の補修・整備の推進
 - 学校施設長寿命化計画に基づいた，施設の計画的な補修・整備
- (2) 教育機器の計画的導入，I C T 機器（情報端末等）利活用の推進と研修会の開催
 - 備品等の計画的な購入と活用
 - 研修会の実施

- (3) 学校図書館の充実
 - 計画的な図書の購入と廃棄
 - 学校図書館システムの効果的活用（資料検索，学校間相互貸借等）
- (4) 教師と子どもの手でつくる花と緑の教育環境づくり
 - 学校緑化年間計画による緑化環境の充実
 - 花育週間（フラワーアレンジメント製作教室等）の実施
- (5) 学校施設（あかね文化ホール，天体観測施設）・社会教育施設（研修センター，歴史観光交流館，歴史民俗資料館）を利用した学習の充実
 - 学校施設・社会教育施設の計画的活用
- (6) 給食センターを中核とした食育や食文化（地産地消の学習等）の充実・発展

5 小規模校教育の振興

児童生徒がよりよく学べるための小規模校の「よさ」を生かした教育活動を推進します。

- (1) 小規模校の「よさ」を生かした教育活動の推進
 - 「一人一人が主役，同年齢・異年齢の絆が強く，相互に支え合い学び合う」小規模校のよさを最大限に生かす教育活動の展開（活躍・賞賛の場の設定，「よさ」の情報発信）
- (2) 地域とのつながりを大切にした学校像の策定
 - 学校運営協議会や懇談会の実施による地域住民の意見聴取
- (3) 小中連携教育の推進
 - 各中学校区における小中連携研修会の実施と充実
 - 各中学校区の小学校合同宿泊学習の実施（中1ギャップの解消）

4 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進

すべての町民が地域社会全体で子どもを守り育てるための取組を推進します。

1 地域ぐるみでの子どもの育成

関係機関との連携を図りながら，地域が学校を支援するための体制づくりを進めます。

- (1) 地域が学校を支援するための体制づくりの推進
 - 学校支援事業の実施と充実
- (2) 地域人材の活用推進
 - コーディネーター候補者の発掘とコーディネーター育成のための各種研修会の実施
- (3) 社会教育関係団体との連携及び青少年リーダーの育成，青少年健全育成の機運の醸成
 - 子ども会育成連絡協議会・校外生活指導連絡協議会・PTA連絡協議会の活動の充実及び相互連携
 - 和泊の子表彰実施
- (4) 長寿クラブ等の地域関係団体の活用促進
 - 学校支援補助員，伝統文化・芸能指導講師等を活用した高齢者や地域住民とのふれあい活動の積極的推進

(5) 子ども会等への参加促進

- 「えらぶ世之主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト事業等の体験交流活動の推進

2 家庭及び地域の教育力の向上

家庭や地域の教育機能を高め、基本的な生活習慣についてのしつけが徹底されるよう啓発活動に努めるとともに家庭教育についての学習機会の充実に努めます。

(1) 家庭や地域の教育機能を高める取組の推進

- 「青少年育成の日（第3土曜日）」「家庭の日（第3日曜日）」の効果的活用
- ノー部活動デー・ノーメディアデーの実施
- P T Aと連携した「家庭学習 60・120 運動」の推進と保護者による「確かめ・見届け」の徹底

(2) 基本的な生活習慣についてのしつけが徹底されるような啓発活動

- 和泊町「家庭教育の手引き（伸びゆく子・親）」読本の活用・促進
- 和泊町「家庭教育スローガン」の活用・充実
 - ・ 挨拶のある家庭に非行なし，真心は「声」に出してみても相手に通じる
 - ・ 家庭での家事・手伝いの励行

(3) 家庭教育についての学習機会の充実

- P T A活動・家庭教育学級等の充実
 - ・ 単位P T Aの活動及び町P T A連絡協議会の活動の充実
 - ・ 県・地区諸研修会への積極的参加促進
 - ・ P T A研究大会・保健研究大会の開催と内容の充実
 - ・ 「一家庭一家訓」，「学力向上」に関する取組の推進
- 就学時健康診断等に伴う子育て講座の実施
- 家庭教育支援員の育成及び活用

5 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興

町民が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で学べる環境づくりを目指し、また、スポーツや文化の振興を図ります。

1 社会教育・生涯学習の推進

各種団体や関係機関との連携を図りながら、社会教育・生涯学習の推進に努めます。

(1) 青少年教育の充実

- 町子ども会育成連絡協議会の組織の活性化と単位子ども会及び育成会活動の充実
- 連合青年団活動を中心とした青年団活動の活性化と、各字単位青年団との連携強化
- 壮年団・地域女性連絡協議会の育成

(2) 社会教育関係団体との連携並びにリーダーの育成と活動支援

- 社会教育委員の会、連合青年団、地域女性連絡協議会、文化協会、西郷南洲顕彰会、スポーツ協会等の活動の充実と相互連携

(3) 人権教育の充実

- 人権教育に関する学習機会（研修会・講演会）の充実

(4) 社会教育及び生涯学習の学習環境の充実

- 社会教育施設（中央公民館、町立図書館、歴史観光交流館（西郷南洲記念館）、歴史民俗資料館、研修センター）の充実と活用促進・環境整備
- 公民館講座・図書館まつり・おはなし会等、町民が学びながら交流を広げる場の提供
- 図書館利用者が求める「課題解決型サービス」の拡充と利用促進
- 大島地区生涯学習推進大会の開催

2 社会体育の推進

関係機関との連携を図りながら町民が生涯にわたり年齢に応じたスポーツを楽しみ、健康増進や体力向上ができるよう、町民の誰もが活動できる生涯スポーツの推進に努めます。

(1) スポーツ推進体制の充実、生涯スポーツ・競技スポーツの推進

- スポーツ推進委員の資質の向上と積極的活用
- 地区大会へ向けて競技団体等の育成充実
- 「マイライフ・マイスポーツ運動」を目指したスポーツ・レクリエーション活動の推進

(2) 町スポーツ協会の活性化と各加盟団体、総合型地域スポーツクラブの育成

- スポーツ協会加盟団体の育成と相互の連携強化
- 総合型地域スポーツクラブ（元気！わどまりクラブ）の基盤強化（人材育成・財源確保）

(3) スポーツ大会等の開催・支援

- 町民スポーツ大会、県民スポーツ大会、大島地区大会、各種スポーツ少年団交歓大会、駅伝競走大会

(4) 施設の整備・管理体制の充実

- 各種スポーツ施設の整備、適正な施設の維持管理

(6) 総合交流施設建設の推進

- 総合交流施設建設を更に推進する会での協議

3 芸術・文化活動の推進

町民の幅広い芸術・文化活動の推進と自主的な活動を支援し、芸術・文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、古くから連綿と受け継がれてきた貴重な郷土芸能及び文化財の保存・活用・継承に努めます。

(1) 芸術・文化活動の推進

- 町文化協会の活性化と文化団体及び個人の積極的な活動の支援

(2) 自主的な活動の支援

- 文化協会青年部の組織の継続
- 若手（島唄・島ムニ・踊り）の人材育成
- イベントスタッフの確保・養成

(3) 芸術・文化に親しむ環境づくり

- 優れた舞台芸術鑑賞会の開催
- 大島地区広域文化祭の開催
- 各種大会の効率的な運営

4 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保存・活用・継承

- 文化財保護意識の啓発，文化財の活用の促進
- 文化財指定の促進，保護・管理の徹底
- 歴史民俗資料館・歴史観光交流館（西郷南洲記念館）の充実
- 文化財（埋蔵文化財ほか）の調査の推進
- 「沖永良部島の墓跡群」の国史跡指定に向け知名町教育委員会と連携した調査の実施，両町合同古墓調査検討委員会の開催，両町合同調査総括報告書作成
- 世之主の城跡・後蘭孫八の城跡（町指定史跡）の調査・整備計画作成に向けた検討
- 文化財保存活用地域計画策定の検討

(2) 和泊町の歩み編さんの推進

- 和泊町の歩み編さん事務局体制の強化及び原稿編集作業
- 和泊町の歩み編さん委員会・歩み編さん事業審議会の実施
- 和泊町の歩み編さん執筆者の原稿執筆及び島内実地調査
- 「和泊町の歩み」刊行及び刊行報告会の開催

歴代教育長及び教育委員

◇教育長

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 職 年 月 日	在 職 年 数
初 代	赤 地 信	昭 27 . 6 . 1	昭 31 . 9 . 30	4 年 4 か 月
2	武田 恵喜光	31 . 10 . 1	33 . 1 . 31	1.4
3	肥 後 業 昭	33 . 2 . 1	35 . 6 . 18	2.4
4	朝 戸 国 善	35 . 9 . 1	35 . 9 . 30	0.1
〃	〃	35 . 10 . 1	39 . 9 . 30	4.0
〃	〃	39 . 10 . 1	43 . 8 . 16	3.11
5	町 田 実 美	43 . 8 . 17	43 . 9 . 30	0.1
〃	〃	43 . 10 . 1	47 . 9 . 30	4.0
	空白期間（職務代理）	43 . 10 . 1	43 . 12 . 20	0.2
〃	町 田 実 美	47 . 12 . 21	51 . 10 . 5	3.9
6	関 正	51 . 10 . 6	51 . 12 . 20	0.2
〃	〃	51 . 12 . 21	55 . 12 . 20	4.0
〃	〃	55 . 12 . 21	59 . 12 . 20	4.0
7	重 信 初 雄	59 . 12 . 21	63 . 12 . 20	4.0
8	大 山 安 弘	63 . 12 . 21	平 4 . 12 . 20	4.0
9	西 村 金 藏	平 4 . 12 . 21	8 . 12 . 20	4.0
10	竿 田 富 夫	8 . 12 . 21	12 . 12 . 20	4.0
〃	〃	12 . 12 . 21	16 . 12 . 20	4.0
〃	〃	16 . 12 . 21	18 . 3 . 31	1.3
11	逆瀬川 勝久	18 . 4 . 1	22 . 3 . 31	4.0
〃	〃	22 . 4 . 1	26 . 3 . 31	4.0
〃	〃	26 . 4 . 1	30 . 3 . 31	4.0
〃	〃	30 . 4 . 1	30 . 9 . 30	0.6
12	竹 下 安 秀	30 . 10 . 1	令 4 . 9 . 30	3.0
〃	〃	令 4 . 10 . 1		

◇教育委員

昭和27年～30年	柏 誠之介	西田 フユ	先田 吉秀 中屋 利秀	豊山 英敏
31年～35年	〃	重村 中間	福島 清英	柳 元則
36年～37年	〃	伊井 中直	〃	〃
38年～42年	新納 定明	〃	〃	〃
43年～47年	〃	〃	東 伊志郎	中村 静造
48年	大吉 正訓	〃	〃	〃
49年～50年	〃	橋口 初枝	〃	〃
51年	〃	重村 忠義	〃	〃
52年	〃	〃	〃	竹 玉寛
53年	〃	重村 康雄	〃	〃
54年～57年	〃	〃	石原 茂吉	〃
58年	森 力子	〃	〃	〃
59年	〃	〃	〃	宗 利武
60年	〃	〃	〃	〃
61年～63年	〃	〃	村山 英二	〃
平成元年	〃	重村 康雄→ 島田 信彦	〃	〃
2年～4年	〃	島田 信彦	〃	〃
5年	〃	島田 信彦→ 橋口 豊彦	〃	〃
6年	〃	橋口 豊彦	村山 英二→ 森田 季勝	〃
7年	森 力子→ 市来 政仁	〃	森田 季勝	〃
8年	市来 政仁	〃	〃	宗 利武→ 先田 司
9年	〃	〃	〃	先田 司
10年	〃	伊集院 健→ 重村 修	〃	〃
11年	市来 政仁→ 本部 元則	重村 修	〃	〃
12年	本部 元則	〃	〃	〃
13年	〃	〃	〃	〃
14年	〃	〃	森田 季勝→ 川邊 悦郎	〃
15年	本部 元則→ 朝戸 智子	〃	川邊 悦郎	〃

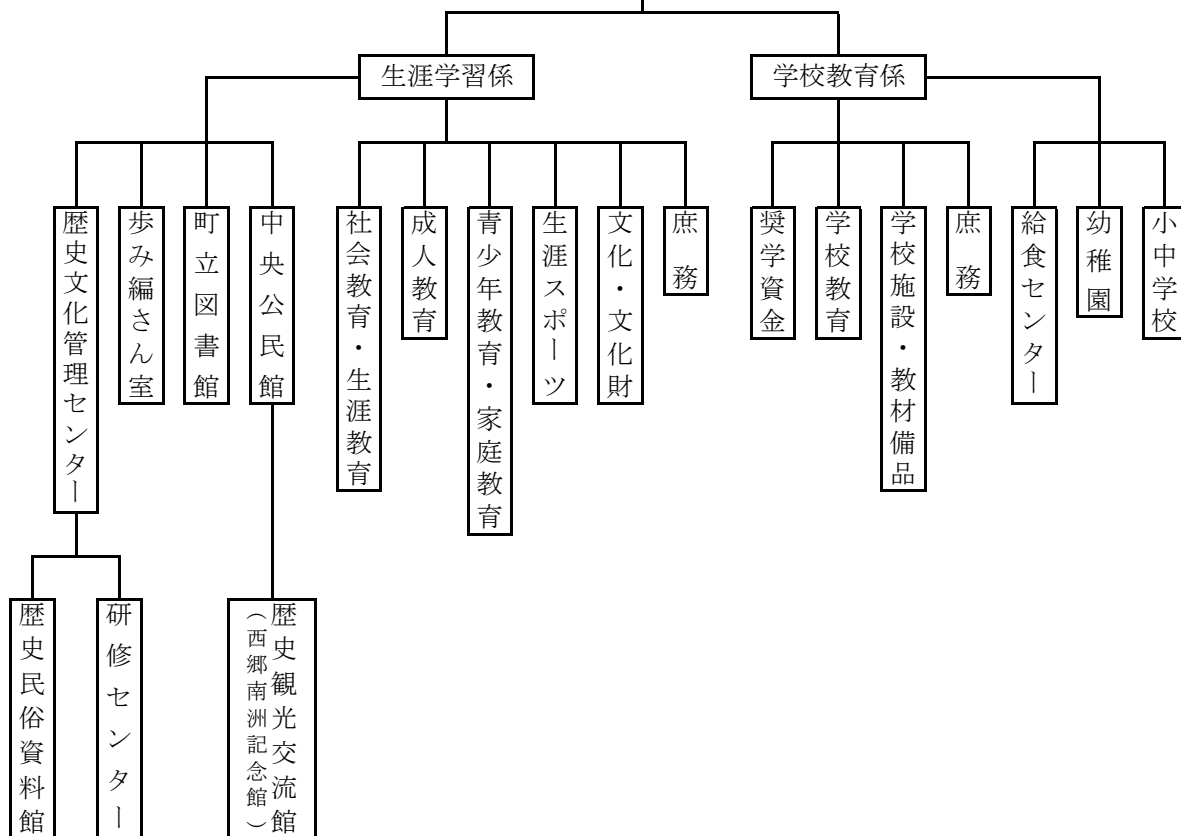
16年	朝戸 智子	〃	〃	先田 司→ 先田 光演
17年	〃	重村 修→ 朝戸 弘文	川邊 悦郎→ 逆瀬川 勝久	先田 光演
18年	〃	朝戸 弘文	逆瀬川 勝久→ 先田 秀裕	〃
19年	〃	〃	先田 秀裕	〃
20年	〃	〃	〃	先田 光演→ 安田 克彦
21年	〃	〃	〃	安田 克彦
22年	〃	〃	〃	〃
23年	朝戸 智子→ 川邊 裕子	〃	〃	〃
24年	川邊 裕子	〃	先田 秀裕→ 竹下 安秀	安田 克彦→ 長田 隆一
25年	〃	〃	竹下 安秀	長田 隆一
26年	〃	〃	〃	〃
27年	〃	〃	〃	新屋 治男
28年	〃	〃	竹下 安秀→ 宗 武彦	〃
29年	〃	朝戸 弘文→ 石原 茂仁	宗 武彦	〃
30年	〃	石原 茂仁	〃	〃
令和元年	〃	〃	〃	新屋 治男→ 徳田 英輔
2年	〃	〃	〃	徳田 英輔
3年	〃	〃	〃	〃
4年	川邊 裕子→ 田中 美保子	中田 勝巳	〃	〃
5年	田中 美保子	〃	〃	〃
6年	〃	〃	〃	〃

行政機構

教育委員会

令和6年4月現在	
教 育 長	竹 下 安 秀
教 育 委 員 (教育長職務代理者)	宗 武 彦
教 育 委 員	田 中 美 保 子
	中 田 勝 巳
	徳 田 英 輔

事務局



教育委員会事務局(学校教育係)① TEL92-0009 FAX92-2116

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
局 長	永井 徹	次 長 指導主事 係 長 主 査	和田貴子 市末 宏 上別府立 村吉沙織	1 学校教育係所管事務の総括
				2 教育委員会の会議(定例会等)
				3 教育委員会又は教育長に対する陳情及び請願の受理
				4 教育委員会の評価(正)
				5 職員の任免, 給与, 分限, 懲戒, 服務, 勤務成績の評定
				6 学校安全衛生委員会(正)
				7 栄典, 叙勲事務
				8 教育振興基本計画策定(正)
次 長	和田貴子	局 長 指導主事 係 長 主 査 事務長	永井 徹 市末 宏 上別府立 村吉沙織 市來武也	1 就学, 就園事務及び就学援助事務(準要保護世帯の認定等)
				2 災害給付
				3 学校保健会, 環境衛生
				4 幼稚園児, 児童・生徒の健康及び安全に関する事務
				5 県費負担教職員に関する事務
				6 教育費, 学校調査等各種統計及び調査事務
				7 教科書無償給与事務
				8 国庫補助事業(へき地, 高校生修学支援費, 心臓検診含む)
				9 公立学校共済組合事務
				10 こども未来課との連携(子ども・子育て会議等)
				11 幼稚園業務支援
				12 学校安全衛生委員会(副)
				13 障害者採用計画実施状況通報書等(副)
				14 給食センター運営(副)
				15 教育振興基本計画策定(副)
				16 定例教育委員会の会議録作成
				17 総合振興計画・総合戦略(企画課)
				18 公印取扱・管理
指導主事	市末 宏	局 長 次 長 係 長 主 査	永井 徹 和田貴子 上別府立 村吉沙織	1 教育長の秘書事務
				2 学校教育行政施策の実践
				3 学校, 幼稚園の指導及び教職員の研修
				4 就学指導委員会事務
				5 教育課程及び教材開発
				6 幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校との連携事務
				7 教科書以外の教材使用承認
				8 ALTの活用
				9 ICT活用・プログラミング教育の推進
				10 人権同和教育(学校)の推進
				11 SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)との連携の推進
				12 所掌事務に係る広報及び教育行政相談
				13 「郷土で育てる肝心」教育の推進

教育委員会事務局(学校教育係)②

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
係 長	上別府立	指導主事 係 長 主 査 ICT支援員	市末 宏 和田貴子 村吉沙織 上村昌範	1 GIGAスクール構想の推進
				2 学校施設の維持管理
				3 情報端末, ネットワーク管理
				4 学校施設環境改善交付金事業
				学校施設バリアフリー化改修実施設計(和, 国小, 和中) 予防改修工事(内小)

				5 脱炭素先行地域づくり事業 学校電灯設備改修実施設計(和尓, 大小, 和尓, 城中) 改修工事(大小, 城中) 6 ワランチャアシビ処整備事業(大小, 国小) 7 教育財産及び学校施設台帳の管理 8 教員住宅の整備及び管理 9 ICT支援員(地域おこし協力隊) 10 通学路灯管理 11 奨学資金の管理(副) 12 企業版ふるさと納税プロジェクト事業 13 情報化リーダー(企画課) 14 転入教職員宣誓式
主 査	村吉沙織	次 係 長 長	和田貴子 上別府立	1 学校教育に係る庶務全般 2 国庫・町単補助事業 3 各種団体補助金 4 理科・教材・一般備品等の整備 5 障害者採用計画実施状況通報書等(正) 6 社会保険, 雇用保険 7 各計画の策定業務(教育要覧, 年間行事含む) 8 楽器整備支援事業 9 行動計画の推進 10 奨学資金の管理(正) 11 広報関係(企画課) 12 文書管理
英語支援 専門員 (ALT)	ウォルター・ ホワイト	指導主事 係 長	市来 宏 上別府立	1 外国語教材作成の補助及びショートスピーチ大会への協力 2 外国語教員に対する現職研修への補助 3 特別活動及び課外活動への協力
ICT 支援員	上村昌範	係 長 主 査	上別府立 村吉沙織	1 学校での授業支援(授業計画の作成, 機器の準備・操作支援等) 2 学校でのICT環境整備(アカウント管理支援, メンテナンス支援, ネットワークトラブル対応) 3 校務支援(ホームページの作成・更新等の情報発信の支援等) 4 ICTの研修企画支援, 準備, 実施支援等

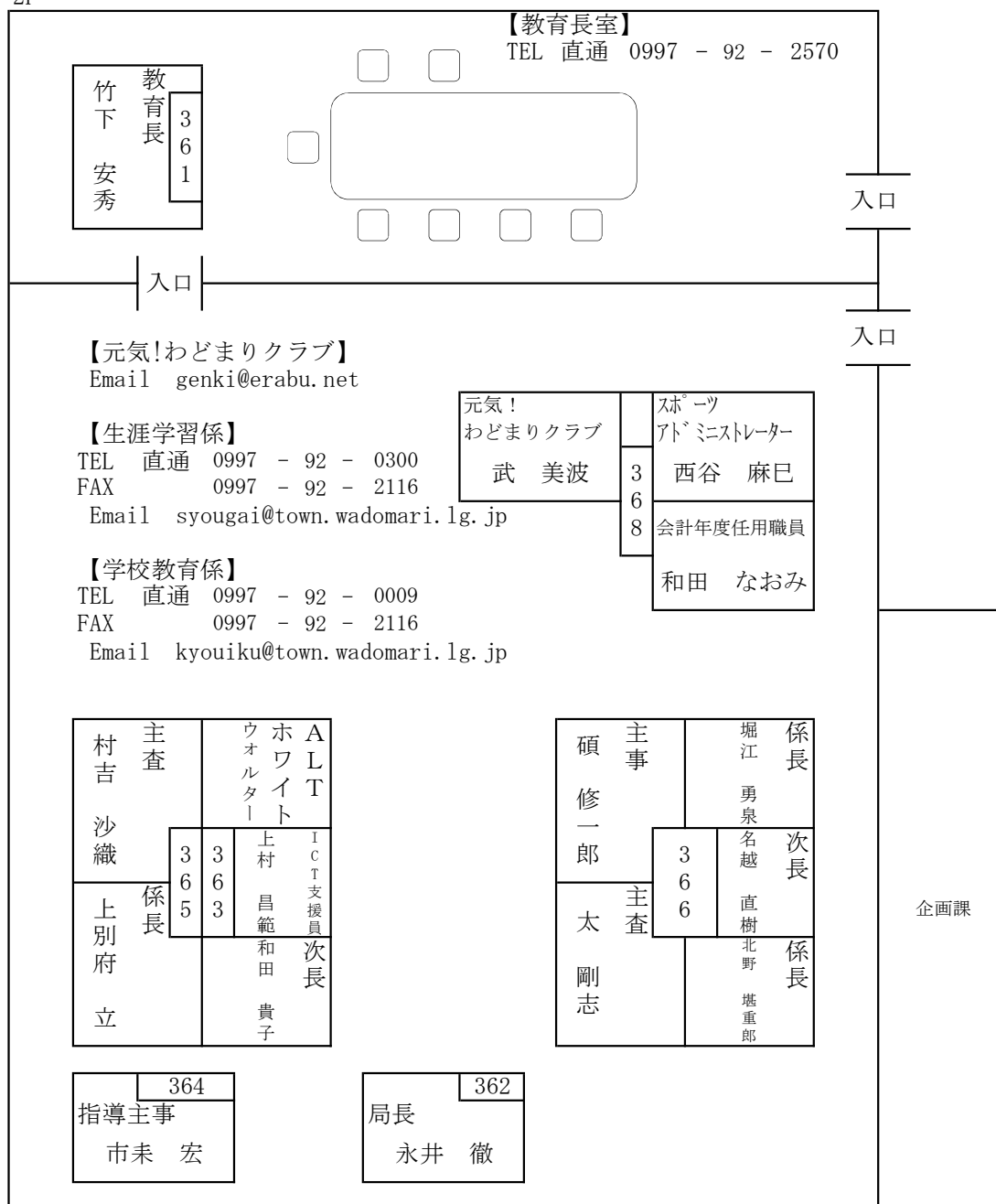
教育委員会(学校給食センター) TEL92-2878 FAX92-2879

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
所 長	永井 徹	事 務 長	市來武也	1 総括
事 務 長	市來武也	所 次 長	永井 徹 和田貴子	1 給食センターの運営(正)
				2 物資の購入業務
				3 施設及び機器の維持管理業務
				4 給食センター運営協議会及び給食担当者会
				5 給食費の口座引落業務(副)
				6 地場産食材の活用推進
				7 会計年度任用職員の研修・福利厚生
				8 庶務(文書管理含む)
任用職員	持留葉月	事 務 長	市來武也	1 給食センターに係る伝票作成・処理
				2 給食費の口座引落業務(正)
				3 給食費の徴収事務
				4 給食センターの電話応対, 来客対応
任用職員	吉野周治	事 務 長	市來武也	1 給食の調理及び輸送
任用職員	出村恭平			2 公用車の管理
任用職員	村田健二			3 施設の環境整備

任用職員	伊村喜代美	事 務 長	市 来 武 也	1 給食の調理及び輸送補助
任用職員	川上由加理			
任用職員	前田智恵美			
任用職員	出村沙也香			
任用職員	長野恵美			
任用職員	東多望子			
任用職員	平山つる代			
任用職員	盛田絵理			
任用職員	中田喜美代			

教育委員会事務局 座席配置図

2F



【公民館】
TEL 直通 0997 - 92 - 0290

【図書館】
TEL 直通 0997 - 92 - 3033

【給食センター】
TEL 直通 0997 - 92 - 2878

【歩み編さん室(図書館1階 郷土資料室)】
TEL 直通 0997 - 92 - 3690

【歴史民俗資料館】
TEL 直通 0997 - 92 - 0911

【和泊幼稚園】
TEL 直通 0997 - 92 - 0399

【歴史観光交流館(西郷南洲記念館)】
TEL 直通 0997 - 92 - 0999

和泊町小・中学校 校訓及びキャッチフレーズ, 研究テーマ

学 校 名	校訓	キャッチフレーズ	研究テーマ
和泊小学校	和魂	星がキラキラ ひとみもキラキラ 和泊小学校	「学校が好き」という児童を育てる「魅力ある 学校づくり」の研究 ～授業改善と特別活動の充実を通して～
大城小学校	負けじ魂	祖先の知恵を 受け継ぐ大城小	「ジリツした学習者主体の授業の在り方」 ～複式・少人数教育のよさを生かした学習指 導を通して～
内城小学校	明るく強く 正しく 最後まで	花と読書と笑顔の広がる内城 小	学び合いを通して自分の考えや思いを広げ 深めようとする児童の育成 ～自分の考えを出すことに焦点をあてて～ 学び合いを通して自分の考えや思いを広げ 深める児童の育成 ～算数科の指導を通して～(二年次)
国頭小学校	考える【知】 たくましく【体】 明るく【徳】	日本一の「ガジュマル」の如 く, たくましく・美しく 「汐干す母」に学び, くじけ ず・やさしく	「分かった・できた」を実感する子供の育成～ 個別最適な学び・協働的な学びを通して～
和泊中学校	「自主独立」 「好学愛知」 「親和協力」	ナマ シランニャ イチ シュ イ (今やらずにいつする) シリィバ ディキユン (やればできる)	「学ぶ意欲を持ち, 主体的に行動できる生徒 の育成」 ～「和中力」を高めるための実践～
城ヶ丘中学校	敬 愛 信	～ 挑戦・共進・夢実現 ～	主体的に学習活動に取り組む生徒の育成 ～学習者主体の授業づくり～

令和6年度 和泊町 各学校の学年・教科担当一覧表

校 務 ・ 担 任 等	和泊小学校	大城小学校	内城小学校	国頭小学校	和泊中学校	城ヶ丘中学校
校 長	池田 裕一郎	根釜 恵理子	岩 戸 孝 夫	伊 口 裕 喜	税 所 篤 哉	吉 永 美 利
教 頭	柴 田 浩	古 木 哲	松 崎 洋 樹	西 村 慎 哉	川 口 智 洋	早 崎 宣 仁
教 務 主 任	三 原 理 沙	柏 木 辰 公	鳥 丸 愛 子	山 崎 明 美	畑 野 隆	八 木 妙 子
生徒指導主任	宮 田 哲 生	田 原 寛	山 口 芳 野	逆瀬川 芳恵	東 博 志	靄園 淳 二
保 健 主 任	水 本 沙 織	盛岡 さとみ	谷 口 絢 女	上 菌 さおり	今東 花菜子	山 田 浩 美
進路指導主任	—	—	—	—	上村 二三乃	荻 田 万 博
1 年 担 任	水 本 沙 織	小 山 倭 加	平 山 あすか	津 田 真 生	阪 元 伶	浅 野 正 義
					小 原 大 樹	
2 年 担 任	貴 島 武 徳	田 原 寛	北 野 勇 治	山 崎 明 美	小 城 絵 理	坂 本 欣 一
					中木原 和孝	
3 年 担 任	伯川 めぐみ	椎 畑 咲 美	山 口 芳 野	軸 屋 愛 莉	丸 山 陽 介	鹿 島 啓 太 郎
	末 廣 渉				坂 本 香	
4 年 担 任	松久保 陽史			上 菌 さおり	—	—
	鮫 島 玲 奈					
5 年 担 任	勝目 竜太郎	松 野 優 花	瀬 占 洋 祐	新 納 美 保		
6 年 担 任	新 門 佳 奈			木 戸 脩 平		
特 学 別 級 支 担 援 任	知 榮 有 佳 子	知 柏 木 辰 公	知 鳥 丸 愛 子	知 石 井 原 真 紀	知 上 村 二 三 乃	知 水 間 徹
	情 大 納 正 子	情 盛 岡 さ と み	情 朝 尾 幸 恵	情 逆 瀬 川 芳 恵	情 黒 崎 麻 美	情 靄 園 淳 二
	情 前 依 津 美	—	—	病 福 元 哲 勇	—	—
専 科	宮 田 哲 生 (理 専)	—	—	村 田 彰 (理 専)	—	—
養 護 教 諭	藤 原 真 琴	久 保 康 子	谷 口 絢 女	喜 納 草 苗	今 東 花 菜 子	山 田 浩 美
栄 養 教 諭	折 田 佳 奈	—	—	—	—	—
事 務 職 員	盛 山 智 彦	松 木 慶 子	赤 谷 幸	宮 山 博 弥	大 迫 潤 一	安 藤 千 尋
国 語 科 主 任	新 門 佳 奈	盛 岡 さ と み	朝 尾 幸 恵	軸 屋 愛 莉	小 城 絵 理	大 原 由 佳 理
社 会 科 主 任	松 久 保 陽 史	柏 木 辰 公	瀬 占 洋 祐	福 元 哲 勇	池 山 徹 太 郎	八 木 妙 子
算 数 科 ・ 数 学 科 主 任	末 廣 渉	椎 畑 咲 美	北 野 勇 治	石 井 原 真 紀	中 木 原 和 孝	鹿 島 啓 太 郎
理 科 主 任	宮 田 哲 生	松 野 優 花	山 口 芳 野	村 田 彰	阪 元 伶	坂 本 欣 一
生 活 科 主 任	水 本 沙 織	田 原 寛	北 野 勇 治	山 崎 明 美	—	—
音 楽 科 主 任	水 本 沙 織	盛 岡 さ と み	朝 尾 幸 恵	軸 屋 愛 莉	黒 崎 麻 美	水 間 徹
図 画 工 作 ・ 美 術 主 任	貴 島 武 徳	田 原 寛	鳥 丸 愛 子	上 菌 さ お り	白 川 清 乃	白 川 清 乃
家 庭 科 ・ 家 技 術 主 任	榮 有 佳 子	松 野 優 花	鳥 丸 愛 子	石 井 原 真 紀	小 原 大 樹	平 園 美
体 育 ・ 保 健 主 任	鮫 島 玲 奈	椎 畑 咲 美	瀬 占 洋 祐	木 戸 脩 平	東 博 志	浅 野 正 義
外 国 語 科 担 当 ・ 英 語 主 任	三 原 理 沙	松 野 優 花	山 口 芳 野	新 納 美 保	丸 山 陽 介	荻 田 万 博
道 徳 主 任	勝 目 竜 太 郎	柏 木 辰 公	朝 尾 幸 恵	津 田 真 生	小 城 絵 理	鹿 島 啓 太 郎
総 合 的 な 学 習 の 時 間 担 当	宮 田 哲 生	椎 畑 咲 美	瀬 占 洋 祐	逆 瀬 川 芳 恵	畑 野 隆	荻 田 万 博

令和6年度教科・領域等研修会の組織と年間計画

<共通研修テーマ> 確かな学力を定着させ、豊かな心とたくましい体を育成するための教科等の指導はどうあればよいか。

I	国語	社会	算数・数学	理科	生活・総合	音楽	図工・美術
校長	池田 裕一郎 (和泊小学校)	岩戸 孝夫 (内城小学校)	税所 篤哉 (和泊中学校)	根釜 恵理子 (大城小学校)	根釜 恵理子 (大城小学校)	税所 篤哉 (和泊中学校)	吉永 美利 (城ヶ丘中学校)
教頭	柴田 浩 (和泊小学校)	古木 哲 (大城小学校)	川口 智洋 (和泊中学校)	西村 慎哉 (国頭小学校)	西村 慎哉 (国頭小学校)	川口 智洋 (和泊中学校)	松崎 洋樹 (内城小学校)
部長	軸屋 愛莉 (国頭小学校)	八木 妙子 (城ヶ丘中学校)	末廣 渉 (和泊小学校)	松野 優花 (大城小学校)	池山 徹太郎 (和泊中学校)	軸屋 愛莉 (国頭小学校)	上蘭 さおり (国頭小学校)
副部長	肥後 由佳理 (城ヶ丘小学校)	松久保 陽史 (和泊小学校)	椎畑 咲美 (大城小学校)	阪元・上村 (和泊中学校)	北野 勇治 (内城小学校)	黒崎 麻美 (和泊中学校)	三原 理沙 (和泊小学校)
研修テーマ	豊かな表現力を育成するためにはどうすればよいか。 ～主体的・対話的な活動を通して～	主体的に考え、対話的な活動を通して資料活用能力や表現力を高めるための教科指導とはどうあればよいか。	基礎・基本を定着させ、主体的に課題を解決しようとする力を育成するにはどうすればよいか。 ～計算力の育成と根拠をもとに話し合う活動を通して～	体験的、問題解決的学習に取り組む中で、基礎・基本をしっかりと身に付けさせる理科学習はどうあればよいか。	郷土素材を生かし、子ども一人一人が意欲的に取り組む生活科・総合的な学習の時間の指導はどうあればよいか。	音楽のよさや美しさを感じ取り、想いや意図をもって表現しようとする態度を育てるための指導はどうあればよいか。	表現力を高める指導はどうあればよいか。 ～郷土のよさを生かして～
活動計画	9/6 町作文審査会 9/11 読書感想文町審査会 11/5 中学校弁論大会(和泊中)	租税教室を実施する。(1学期小・中) 社会科見学学習の実施	11月・2月 算数・数学検定 鹿児島学力・学習状況調査のCBT化に向けてTeamsを活用して情報交換・共有を行っていく。	8月 フィールドワーク(地下ダム) 9月 理科作品町審査会 プラネタリウムの活用(家庭教育学級等) プログラミング学習の充実	学校の実態に合わせ、各学校で進めていく。 三味線、黒糖早場米 仲里節 汐干し プラネタリウム 農業体験 福祉体験 職場体験 子ども議会 等	8/27 町音楽部会研修会 10月 町小中音楽発表会打合せ会 11/8 町小中音楽発表会会場準備 11/9 町小中音楽発表会(会場：あかね文化) ※講師の選定 沖永良部高校に要請する。	6月 県図画作品展町審査会 9月 夏休みの作品出品 1月 防火ボスターへの取組 ★当番校の輪番は小学校で考える(中学校は非常勤のため)
	当番校 部長 副部長 R7 城小 R8 和中小 R9 大小 R10 和中 和中 内小	当番校 部長 副部長 R7 和中小 R8 大小 和中 R9 和中 内小 R10 内小 国小	当番校 部長 副部長 R7 大小 和中 R8 和中 内小 R9 内小 国小 R10 国小 城中	当番校 部長 副部長 R7 和中 内小 R8 内小 国小 R9 国小 城中 R10 城中 和中小	当番校 部長 副部長 R7 内小 国小 R8 国小 城中 R9 城中 和中小 R10 和中小 大小	当番校 部長 副部長 R7 和中 大小 R8 大小 城中 R9 城中 和中小 R10 和中小 内小	当番校 部長 副部長 R7 和中小 大小 R8 大小 内小 R9 内小 国小 R10 国小 和中小

令和6年度教科・領域等研修会の組織と年間計画

<共通研修テーマ> 確かな学力を定着させ、豊かな心とたくましい体を育成するための教科等の指導はどうあればよいか。

Ⅱ	家庭・技術	体育・保健	外国語	道徳	人権同和教育	ICT・情報教育	特別支援教育
校長	吉永 美利 (城ヶ丘中学校)	伊口 裕喜 (国頭小学校)	池田 裕一郎 (和泊小学校)	伊口 裕喜 (国頭小学校)	池田 裕一郎 (和泊小学校)	※教育委員会で対応(指導主事・ICT担当) ★R5～町教職員の全体研修として進めていく。	岩戸 孝夫 (内城小学校)
教頭	早崎 宣仁 (城ヶ丘中学校)	早崎 宣仁 (城ヶ丘中学校)	松崎 洋樹 (内城小学校)	西村 慎哉 (国頭小学校)	柴田 浩 (和泊小学校)		松崎 洋樹 (内城小学校)
部長	石井原 真紀 (国頭小学校)	浅野 正義 (城ヶ丘中学校)	新納 美保 (国頭小学校)	勝目 竜太郎 (和泊小学校)	盛岡 さとみ (大城小学校)	八木 妙子 (城ヶ丘中学校)	鳥丸 愛子 (内城小学校)
副部長	平 園美 (城ヶ丘中学校)	鮫島 玲奈 (和泊小学校)	荻田 万博 (城ヶ丘中学校)	小山 倭加 (大城小学校)	畑野・阪元 (和泊中学校)	村田 彰 (国頭小学校)	逆瀬川 芳恵 (国頭小学校)
研修テーマ	教材・教具の工夫を通して、生活に結び付ける力を高めるには、どうすればよいか。	基礎体力を高める指導方法の工夫 ～十分な運動量を確保しながら、練り合いを取り入れた指導を通して～	〈小学校〉 子どもが楽しく取り組むための加配との連携及び環境整備の充実 〈中学校〉 基礎・基本の定着を図り、コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫	主体的に学ぶ道徳科の指導の在り方 ～児童・生徒の振り返り活動を通して～	ふるさとのよさを知り、ふるさとを誇りに思う心を子どもと共有する教育の実践 ～資料「仲間づくり」の活用～	各教科等の学習の基盤となる資質・能力「情報活用能力(情報モラルを含む)」を育成するための指導はどうか～和泊町モデルの達成～	一人一人の教育的ニーズに応える指導、支援の在り方 ～就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制の構築を目指して～
活動計画	家庭科・技術科県大会への希望者の参加	4月 沖中体連理事評議員会 5月 小体連理事会 5/28 中学校陸上記録会 7/13 小学校水泳記録会 10/18 小学校陸上記録会 11/12 沖中体連新人大会	ALTとの打合せ 11/5 中学校弁論ショートスピーチ大会(あしびの郷)	2学期 和小平フレッシュ研修研究授業	6/14 沖永良部人権・同和教育研究協議会基礎講座(和中) 8/21 沖永良部人権・同和教育研究協議会夏季研修会・知名町人権同和教育研修会(あしび) 10/1 地区人権教育授業実践研究会 ※ 各学校の校内研修等で年間3回の研修を行う。	5/24 Googleスタートアップ研修 8/20 Google Figjam研修・校務研修 1/24 Google研修	6/3 特別支援教育担当者会① 6/27 町教育支援委員会 7/4 町特別支援学級交流学習会(内小) 9/13・10/24 特別支援教育担当者会② 10/24 充実のための教育講演会 11/13 町教育支援委員会(判定会) 11/19 地区特別支援教育研究大会(国小) 12/10 町特支学級交流会(和小) 2/20 特別支援教育担当者会③
	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長	当番校 部長 副部長
	R7 城中 和 R8 和 小 R9 和 小 大小 和 R10 和 中 和 中 内小	R7 和 小 大 R8 大 小 和 R9 和 中 内小 R10 和 中 内小 内小 国小	R7 城中 和 R8 和 小 大 R9 大 小 和 R10 和 中 内小	R7 大 小 和 R8 和 中 内小 R9 内 小 国 R10 内 小 国 国小 城 中	R7 和 中 内 R8 内 小 国 R9 内 小 国 R10 内 小 国 城 中 和 小	R7 和 中 和 R8 内 小 大 R9 内 小 大 R10 内 小 大 和 小 和 中	R7 国 小 和 R8 和 小 城 R9 城 中 大 R10 大 小 和 大 小 和 中

学 校（園）の 実 態

令和6年5月1日現在

1 幼児児童生徒数及び学級数調

幼 稚 園

和泊幼稚園	男	女	計	教 職 員			
				園 長	副園長	教 諭	計
3 歳	1	1	2	1	1	2	4
4 歳	2	3	5				
5 歳	3	2	5				
計	6	6	12				

小 学 校

学 校 名	児 童 数 ():特別支援別掲 学 級 数							計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	
和泊小学校	27 (3)	31 (3)	36 (5)	40 (1)	35 (2)	33 (1)	15	202 (15)
	1	1	2	2	1	1	3	11
	6 (0)	4 (0)	5 (1)	5 (0)	2 (1)	5 (1)	3	27 (3)
大城小学校	1	1	1		1		2	6
	5 (1)	5 (1)	8 (1)	7 (0)	4 (2)	7 (0)	5	36 (5)
内城小学校	1	1	1		1		2	6
	7 (1)	10 (1)	13 (2)	9 (2)	12 (3)	12 (2)	11	63 (11)
国頭小学校	1	1	1	1	1	1	3	9
	45 (5)	50 (5)	62 (9)	61 (3)	53 (8)	57 (4)	34	328 (34)
計	4	4	5	3	4	2	10	32

中 学 校

学 校 名	児 童 数 ():特別支援で別掲				計
	学 級 数				
	1 年	2 年	3 年	特別支援	
和泊中学校	43 (4)	43 (1)	42 (4)	9	128 (9)
	2	2	2	2	8
	12 (1)	9 (3)	9 (2)	6	30 (6)
城ヶ丘中学校	1	1	1	2	5
	55 (5)	52 (4)	51 (6)	(15)	158 (15)
	3	3	3	4	13

2 小・中学校職員数（常勤）

令和6年5月1日現在

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 諭 等 (助教諭・講師含)			養護	事務	栄養	司書	学校 主事	合計
			男	女	計						
和 泊 小	池田 裕一郎	柴 田 浩	5	8	13	1	1	1	1	1	18
大 城 小	根釜 恵理子	古 木 哲	3	7	10	1	1		1	1	14
内 城 小	岩戸 孝夫	松崎 洋樹	4	4	8	1	1		1	1	12
国 頭 小	伊口 裕喜	西村 慎哉	4	6	10	1	1		1	1	14
小 学 校 計			16	25	41	4	4	1	4	4	58
和 泊 中	税所 篤哉	川口 智洋	9	6	15	1	1		1	1	19
城ヶ丘中	吉永 美利	早崎 宣仁	7	3	10	1	1		1	1	14
中 学 校 計			16	9	25	2	2	0	2	2	33
小・中 合 計			32	34	66	6	6	1	6	6	91

3 過去5年間の学級数・児童生徒数の推移

令和6年5月1日現在

年度 学校名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数
和 泊 小	12	243	9	244	10	244	10	234	11	217
大 城 小	7	46	6	43	7	43	7	38	6	30
内 城 小	6	41	6	32	6	37	6	37	6	41
国 頭 小	8	66	8	66	8	74	9	75	9	74
小学校計	33	396	29	385	31	398	32	384	32	362
和 泊 中	7	165	7	162	8	157	8	145	8	137
城ヶ丘中	4	25	4	30	4	36	5	43	5	36
中学校計	11	190	11	192	12	193	13	188	13	173
小・中合計	44	586	40	577	43	591	45	572	45	535

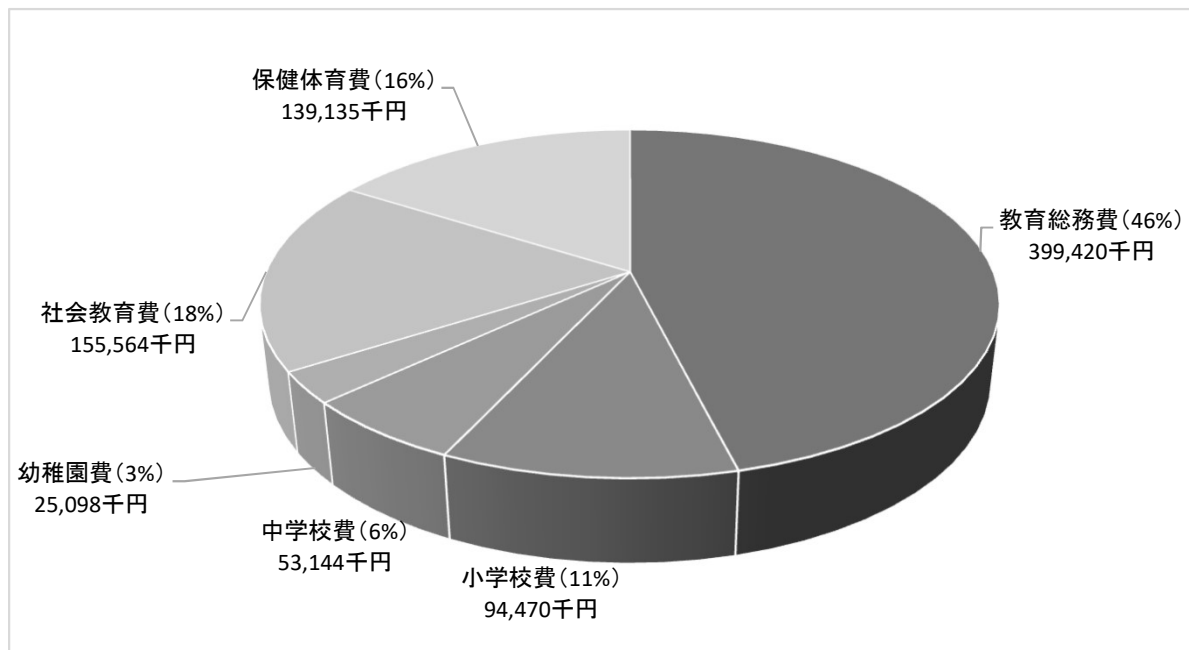
4 字別児童・生徒数

区分 字名	小	学 校		中	学 校	
		児童数	PTA会員数		生徒数	PTA会員数
和 泊	和泊小学校	103	71	和泊中学校	45	41
和		10	7		9	8
手々知名		28	18		14	12
上手々知名		6	4		5	4
喜 美 留		35	24		10	10
出 花		13	8		6	5
伊 延		1	1		0	0
畦 布		19	14		12	12
校 区 外		2	1			
小 計		217	148			
国 頭	国頭小学校	65	41	城ヶ丘中学校	23	19
西 原		7	7		8	5
校 区 外		2	2		5	3
小 計		74	50		137	119
根 折	大城小学校	5	3		3	2
玉 城		10	9		9	7
大 城		5	5		6	5
皆 川		3	2		3	3
古 里		4	3		3	3
校 区 外		3	2			
小 計		30	24			
内 城	内城小学校	14	11		5	5
瀬 名		1	1		1	1
永 嶺		4	3		2	2
仁 志		8	5		1	1
谷 山		6	4		0	0
後 蘭		7	4		2	2
校 区 外		1	1		1	1
小 計		41	29		36	32
合 計		362	251		173	151

令和6年度 教育関係予算

町 総 額	6,900,000千円
教 育 費 総 額	866,831千円
総 予 算 対 比	12.6%

〈教育予算内訳〉



(単位：千円)

年 度 項 目	30年 (決算)	31年 (決算)	2年 (決算)	3年 (決算)	4年 (決算)	5年 (決算)
教 育 総 務 費	100,303	243,068	244,516	113,208	138,443	154,037
小 学 校 費	49,401	51,625	70,935	60,494	72,826	77,055
中 学 校 費	31,814	36,280	41,324	44,270	42,605	43,457
幼 稚 園 費	28,327	27,353	25,482	24,949	23,086	23,035
社 会 教 育 費	103,417	102,352	132,211	136,331	134,068	118,753
保 健 体 育 費	73,984	75,322	62,866	77,084	89,717	117,910
計	387,246	536,000	577,334	456,336	500,745	534,247
総 予 算 対 比	6.0%	8.4%	9.1%	6.1%	7.1%	8.2%

奨学資金特別会計

1 貸付金額（月額）

(1) 一般奨学生

ア 島内高等学校に在学する者 月額 10,000 円

イ 島外高等学校に在学する者 月額 20,000 円

ウ 大学等に在学する者 月額 40,000 円

(2) 特別奨学生

ア 医師又は歯科医師の資格を取得しようとする者 月額 60,000 円

イ 規則で定める資格を取得しようとする者 月額 50,000 円

2 貸付状況（昭和 45 年度～令和 5 年度）

(1) 貸付件数 348 件

(2) 貸付金額 277,904,000 円

3 奨学基金総額 105,000,000 円（令和 6 年 3 月 31 日現在）

4 令和 6 年度当初予算

歳入

1	財産収入	2,000 円
2	寄付金	1,000 円
3	繰越金	1,303,000 円
4	諸収入	5,589,000 円
5	繰入金	0 円
	計	6,895,000 円

歳出

1	総務費	195,000 円
2	貸付金	6,600,000 円
3	予備費	100,000 円
	計	6,895,000 円

学校給食センター概要

1 和泊町学校給食の沿革

本町における学校給食は、昭和30年1月からユニセフ(国際連合国際児童緊急基金)によるミルク給食が全児童・生徒に開始された。昭和32年以降5か年で町内全小中学校に給食施設(室)建設完了、順次、全児童、生徒に完全給食を実施した。また昭和40年「へき地特別対策要綱」によって、パン、ミルクの無償給食が実現し、更に昭和46年和泊町立学校給食センターを設立。翌47年4月より、共同調理場方式による給食が開始されるに至り、学校給食が大きく改善、充実された。

昭和51年4月学校給食制度上に米飯給食が正式に位置づけられたことに伴い、週3回の米飯給食が実施され、食事内容が多様化された。

昭和60年4月から臨時行政調査会、臨時行政改革推進審議会及び総務庁の指導に基づき、町直営方式の学校給食業務の一部(調理、配送)を民間に委託移行し、経費の削減を図り運営の合理化及び財政の効率化を図ってきた。

平成24年、施設設備の老朽化が著しいことにより新学校給食センターの建設に着手し、平成26年3月完成、同年4月から「安心・安全で安定的な学校給食の提供、食育の推進、地産地消の推進」を可能とする最新の機器を導入した完全ドライシステム方式による学校給食がスタートした。

(1) 施設設備の概要

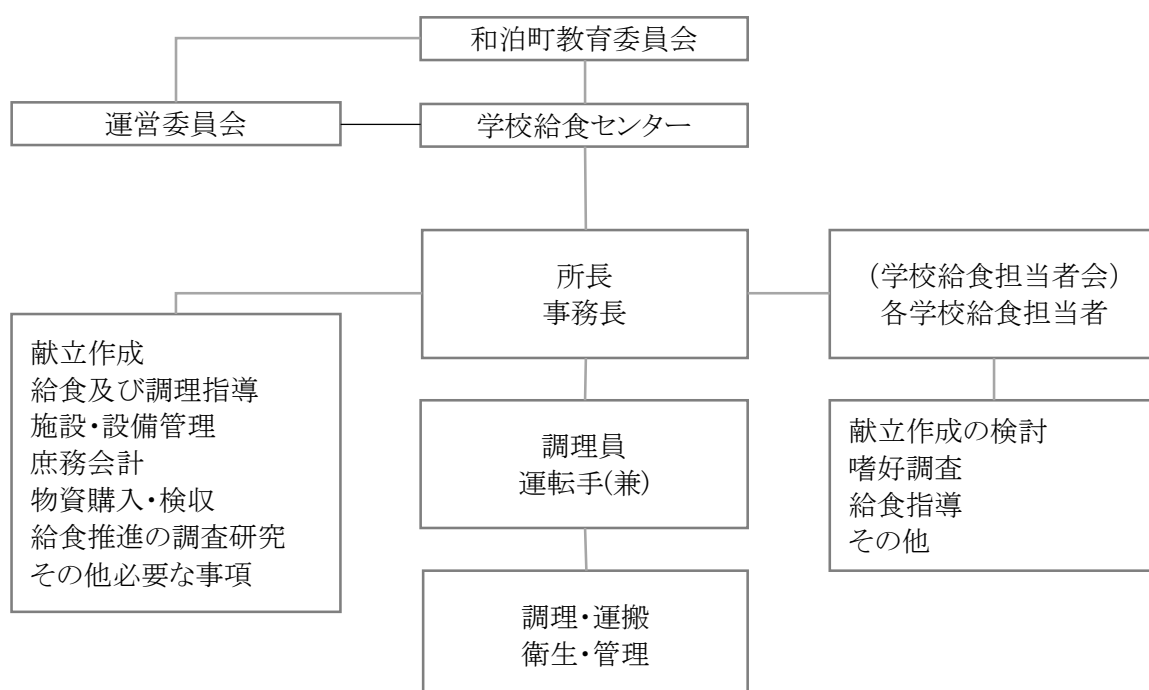
着	工	平成25年7月4日
完	成	平成26年3月25日
構	造	鉄骨平屋建て
延 床 面 積		1,099m ²
敷 地 面 積		2,832m ²
調 理 能 力		1日当たり1,000食(完全ドライシステム)
総 事 業 費		633,572千円(国庫125,600千円)

(2) 職員

所長 1 事務長 1 栄養教諭(県費負担) 1
直 営 13 (調理員 12(兼運転手 3含む), 事務補助 1)

(3) 運営機構

① 機構図



2 運営委員会(年2回開催)

教育長, 教育委員会事務局職員, 地域女性連絡協議会長, 各小中学校長, 各小中学校PTA会長 計 15 名

3 監査委員会(年1回実施)

地域女性連絡協議会代表, 教育委員会代表, 学校長代表, P T A 会長代表
計 4 名

4 和泊町立学校給食センター運営要綱

- 1 総則 2 職員の任務 3 運営 4 業者の指定及び物資の購入
- 5 調理分配及びに運搬 6 衛生管理・健康管理・職員の研修と人事管理
- 7 給食センター納入食品入札規定

5 給食実施人数

令和6年5月1日現在

学 校 名	園児・児童生徒数	教 職 員 数	計
和 泊 小 学 校	219	21	240
大 城 小 学 校	30	12	42
内 城 小 学 校	41	13	54
国 頭 小 学 校	74	17	91
和 泊 中 学 校	137	20	157
城ヶ丘中学校	36	16	52
和 泊 幼 稚 園	12	3	15
給食センター	—	8	8
計	549	110	659

6 令和6年度学校給食費

区 分	1食当たりの単価	徴 収 月 額	1人当たりの徴収年額
小 学 校	168円	3,300円	32,592円(194日)
中 学 校	201円	3,600円	39,195円(195日)
幼 稚 園	233円	1,600円	15,844円(68日)

*幼稚園は,週2回(火・金)給食実施 園児給食費は補助あり

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
局 長	永井 徹	次 長	名越直樹	1 生涯学習係所管事務の統括
				2 社会教育委員会(正)
				3 西郷南洲顕彰会の事務(副)
				4 地域女性連絡協議会(副)
				5 家庭教育の推進(副)
				6 生涯学習推進大会・広域文化祭の準備(副)
				7 地域学校協働活動の推進(副)
				8 中央公民館総括(副)
				9 人権同和教育(地域)の推進
次 長	名越直樹	係 長 係 主	北野堪重郎 堀江勇泉 碩修一郎	1 総合交流施設建設事業(正)
				2 部活動の地域移行(正)
				3 社会教育施設工事事務(正)
				4 西郷南洲顕彰会の事務(正)
				5 地域女性連絡協議会(正)
				6 スポーツ少年団育成及び研修(副)
				7 スポーツ推進(各種大会運営、合宿受入等)(副)
				8 重点新規「和泊町の歩み」郷土講話学習事業(副)
				9 教育振興基本計画策定(副)
				10 教育委員会の評価(副)
				11 法制事務
				12 公共施設マネジメント推進PTメンバー

教育委員会事務局(生涯学習係)②

担 当 者					分 掌 事 務
正担当者		副担当者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名		
係 長	北野堪重郎	係 長	堀江勇泉	1 文化財全般	
		主 査	太 剛志	2 埋蔵文化財の保護・調査	
		主 事	碩修一郎	町道建設に伴う発掘調査(報告書作成)	
		任用職員	永吉由美子	文化財国庫補助事業(沖永良部島の墓跡群国史跡指定に向けた報告書作成)	
		任用職員	亘ひとみ	3 世之主の墓(県指定史跡)石積み崩落・世之主の城跡(町史跡)損傷に関わる対応	
		任用職員	平瀬憲昭		
		任用職員	伊地知裕仁		
		任用職員	松下敦代	4 指定文化財の保護・調査・活用	
係 長	堀江勇泉	次 長	名越直樹	5 文化財保存活用地域計画策定に向けた準備	
				5 文化財保存活用地域計画策定に向けた準備	
				6 あかね文化ホールの機器操作及び管理(副)	
				7 重点新規「和泊町の歩み」郷土講話学習事業(副)	
				8 ゼロカーボンシティ(企画課)	
				1 スポーツ少年団育成及び研修(正)	
				2 スポーツ推進(各種大会運営, 合宿受入等)(正)	
				3 スポーツ推進委員(正)	
4 子ども夢応援プロジェクト事業(正)					
5 社会体育関係団体の育成及び研修(正)					
6 町民運動広場整備(正)					
7 行財政改革・行政評価(正)					
8 部活動の地域移行(副)					
9 総合交流施設建設事業(副)					
10 総合型地域スポーツクラブの体制強化(副)					
11 学校教育に係る庶務等全般(副)					
主 査	太 剛志	係 長	堀江勇泉	1 各種文化行事の企画運営(正)	
		主 事	碩修一郎	2 芸術文化の振興(正)	
		任用職員	和田なおみ	3 島ムニ継承(島ムニ継承推進協議会等)(正)	
		任用職員	甲 恵子	4 町民バンド(正)	
				5 あかね文化ホールの機器操作及び管理(正)	

				6 プラネタリウム委託業務(機器操作補助)(正)
				7 生涯学習推進大会・広域文化祭の準備(正)
				8 校外指導連絡協議会, 子ども会育成連絡協議会 和泊の子表彰(副)
				9 和泊町の歩み編さん事業(重点新規含む)(正)

教育委員会事務局(生涯学習係)③

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
主 事	碩修一郎	次 長 係 長 係 長 任用職員	名越直樹 堀江勇泉 北野堪重郎 和田なおみ	1 生涯学習係に係る庶務
				2 校外指導連絡協議会, 子ども会育成連絡協議会, 和泊の子表彰(正)
				3 地域学校協働活動の推進(正)
				4 家庭教育の推進(正)
				5 町PTA連絡協議会(正)
				6 連合青年団(正)
				7 各種文化行事の企画運営(副)
				8 芸術文化の振興(副)
				9 島ムニ継承(島ムニ継承推進協議会等)(副)
				10 町民バンド(副)
				11 あかね文化ホールの機器操作及び管理(副)
				12 生涯学習推進大会・広域文化祭の準備(副)
				13 二十歳のつどい(副)
				14 過疎・辺地計画(企画課)
任用職員	西谷麻巳	次 長 係 長	名越直樹 堀江勇泉	1 総合型地域スポーツクラブの体制強化(正)
				2 総合型地域スポーツクラブの企画・運営管理(正)
				5 あすの和泊を創る運動
				6 各種講座, イベント, 展示会
				7 各種団体との連携
任用職員	和田なおみ	係長 主査 主事	堀江勇泉 太 剛志 碩修一郎	1 学校教育係・生涯学習係の伝票作成・処理
				2 教育施設の業務応援
				3 プラネタリウム委託業務(機器操作補助)(正)
				4 二十歳のつどい(正)
				5 マイクロバス運転委託業務(正)
				6 社会教育施設の維持管理(正)
				7 校外指導連絡協議会, 子ども会育成連絡協議会, 和泊の子表彰(副)
				8 連合青年団(副)
				9 SDGs推進
任用職員	遠藤聖香	局 長 任用職員	永井 徹 村山英哲	1 公民館に係る庶務全般
				2 地域女性連絡協議会(副)
				3 西郷南洲顕彰会の事務(副)

教育委員会(歴史観光交流館)TEL92-0999

担 当 者					分 掌 事 務
正担当者		副担当者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名		
次 長	名越直樹	主 事	碩修一郎	1 歴史観光交流館の管理運営全般	
任用職員	宗 淳	任用職員	川上富洋	1 資料の収集, 展示, 保存	
				2 他の生涯学習施設等との交流	
				3 西郷南洲顕彰会に関すること	
任用職員	川上富洋	任用職員	宗 淳	1 来館者等の受付業務	
				2 西郷南洲顕彰会に関すること	

教育委員会(町立図書館)①TEL92-3033 FAX92-0773

担 当 者					分 掌 事 務
正担当者		副担当者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名		
館 長	永井 徹	司 書	村榮初美	1 図書館の総括	
司 書	村榮初美	館 長 任用職員 任用職員 任用職員 主 事	永井 徹 前田修一 出花みどり 森田小百合 碩修一郎	1 図書館の運営全般	
				2 関係機関, 団体との連携	
				3 図書館協議会	
				4 読書活動に係る学校との連携	
				5 司書研修	
				6 読書ボランティアの育成・活用	
				7 各種調査に関すること	
				8 歩みの販売・発送(副)	
				9 鹿児島大学との連携(皆村文庫の活用)	
				10 図書館の庶務(会年職員報酬・出退管理含む)	
任用職員	前田修一	司 書 任用職員 任用職員	村榮初美 出花みどり 森田小百合	1 移動図書館車の運転・管理	
				2 図書の貸出し	
				3 新刊の選書(一般)	
				4 官報・読書関連情報の収集, 提供	
				5 時事に関する情報及び参考資料の紹介・提供	
				6 各種計画策定	
				7 新刊雑誌の登録	
				8 図書の除籍・廃棄(一般)	
				9 窓口業務	
任用職員	出花みどり	司 書 任用職員 任用職員	村榮初美 前田修一 森田小百合	1 相互貸借に関すること	
				2 HPIに関すること	
				3 新刊書の登録(一般)	
				4 寄贈本の登録(一般)	
				5 図書の保護及び補正に関すること	
				6 図書の除籍・廃棄(児童・絵本)	
				7 窓口業務	
				任用職員	森田小百合
				2 図書館システムに関すること	
				3 イベント及び各種展示会	
				4 新刊書の選書・登録(児童・絵本)	
				5 寄贈本の登録(児童・絵本)	
				6 図書の除籍・廃棄(児童・絵本)	
				7 窓口業務	

教育委員会 歩み編さん事務局 TEL92-3690

担 当 者				分 掌 事 務
正担当者		副担当者		
職 名	氏 名	職 名	氏 名	
主 査	太 剛志	次 長	名越直樹	1 重点新規「和泊町の歩み」郷土講話学習事業(正)
		係 長	北野堪重郎	2 執筆者との調整(正)
		任用職員	甲 恵子	
任用職員	甲 恵子 市来美穂	次 長	名越直樹	1 歩み編さんの資料整理
		係 長	北野堪重郎	2 歩みの販売・発送
		主 査	太 剛志	3 執筆者との調整(副)

教育委員会 歴史文化管理センター(歴史民俗資料館) TEL92-0911 FAX92-0963(研修センター)TEL92-0805

担 当 者					分 掌 事 務
正担当者		副担当者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名		
所 長	永井 徹	係 長	北野堪重郎	1 歴史文化管理センター統括	
係 長	北野堪重郎	所 長	永井 徹	1 歴史民俗資料館の管理運営全般	
		任用職員	伊地知裕仁	2 研修センターの管理	
		任用職員	松下敦代	3 歴史文化管理センター運営協議会	

任用職員	伊地知裕仁	係 長 任用職員	北野堪重郎 松下敦代	1 資料の収集, 整理保存及び展示, 閲覧
				2 資料に関する解説資料, 目録等の作成
				3 校外学習・体験学習等の対応
				4 歩み編さん事業との連携
				5 他博物館等施設, 学会, 研究者等との連携
任用職員	松下敦代	係 長 任用職員	北野堪重郎 伊地知裕仁	1 歴史民俗資料館及び文化財に係る庶務
				2 発掘・文化財調査及び室内整理作業等の補助
任用職員	永吉由美子	係 長	北野堪重郎	1 発掘・文化財調査及び室内整理作業の管理
任用職員	亘ひとみ	係 長	北野堪重郎	1 発掘・文化財調査及び室内整理作業
任用職員	平瀬憲昭	係 長	北野堪重郎	1 発掘・文化財調査及び室内整理作業の補助, 文化財等の環境整備

令和6年度の主要事業

1 家庭教育の充実

- ①子育て実践モデル地区事業の推進
- ②家庭教育の支援
 - ・学校での家庭教育学級の充実
 - ・就学児健診等の機会を利用した子育て支援講座

2 社会教育の推進

- ①青少年の健全育成
 - ・子どもの体力向上対策の推進
 - ・かごしま地域塾の活動支援
 - ・自然体験及び交流活動の推進
 - ・和泊の子表彰の実施
 - ・わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクトの実施
 - ・子ども会大会
- ②社会教育関係団体との連携・支援
 - ・子ども会育成連絡協議会
 - ・校外生活指導連絡協議会
 - ・PTA連絡協議会
 - ・地域女性連絡協議会
 - ・連合青年団
 - ・関係団体のリーダー養成
- ③人権教育の充実
 - ・研修会の開催
 - ・広報啓発活動の推進
- ④地域学校協働活動の推進
 - ・地域学校協働活動推進員の確保・育成

3 生涯学習の推進

- ①大島地区生涯学習推進大会の開催
- ②公民館・図書館・歴史観光交流館の充実
 - ・公民館の充実
 - 公民館講座の開設及び学習支援
 - 自主グループ等の活動支援
 - ・図書館の充実
 - 読書普及活動の推進
 - 課題解決型サービスの充実
 - 地域に根ざした図書館づくりの推進
 - 移動図書館号の活用・団体貸出の充実
 - 研修会・イベントの開催
 - ・歴史観光交流館の充実
 - 西郷南洲顕彰会の活動充実
 - 西郷南洲翁に関する展示・保存等
- ③研修センターの活用推進
 - ・宿泊研修の充実
 - ・各種交流研修の開催
- ④学校施設の積極的な開放促進
- ⑤町民運動広場の利用促進

4 文化財の保存・活用と文化活動の推進

- ①文化財
 - ・文化財の調査・保存・活用
 - 国史跡指定に向けた沖永良部島の墓跡群調査
 - 県指定史跡世之主の墓石積み崩落への対応
 - 世之主の城跡・後蘭孫八の城跡(町指定史跡)の調査・整備計画作成に向けた検討
 - 開発工事(町道建設・畑総事業・民間開発等)に伴う事前協議及び発掘調査
 - 指定文化財の現状把握
 - 文化財保存活用地域計画策定に向けた検討
 - ・歴史民俗資料館の充実
 - 資料収集, 収蔵品の適正管理
 - 企画展の開催, 普及活動の推進
- ②文化活動の実施, 文化活動の成果発表会の開催・各種文化団体の活動支援
 - ・文化協会
 - 文化と福祉の作品展
 - 大島地区広域文化祭の開催
 - 沖永良部音楽コンクール
 - 子ども芸能発表会
 - ・芸術文化推進実行委員会活動の充実
 - 文化芸術による子どもの育成事業など
- ③和泊町の歩みの編さん
 - 編さん委員会・編さん事業審議会の実施
 - 編さん執筆者の原稿執筆及び島内実地調査
 - 「和泊町の歩み」刊行報告会

5 社会体育の推進

- ①スポーツ推進体制の充実
 - ・総合型地域スポーツクラブ(元気！わどまりクラブ)の活動支援
 - 幼児体操教室(5園)
 - わらんちゃスポーツプログラム事業
 - クラブジュニア(スポーツ少年団)
 - 各種サークル(7団体)
 - ・スポーツ推進委員会の活動支援
- ②指導体制の充実
 - ・社会体育団体の支援
 - 和泊町スポーツ協会・スポーツ少年団
 - ・指導員の研修・育成
- ③施設の整備計画と管理体制の充実
 - ・長期的な視野に立った施設整備計画の検討
 - ・施設の維持管理
 - ・町民運動広場整備工事
- ④スポーツ大会等の開催・支援
 - ・町民スポーツ大会
 - ・大島地区大会(地元開催:相撲競技)
 - ・大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会(〃)
 - ・新春町内一周駅伝競走大会
 - ・大島地区駅伝競走大会
 - ・住民参加型スポーツイベント

生涯学習を推進するための施設等

1 生涯学習・社会教育施設

(1) 和泊町中央公民館

TEL : 92 - 0290

和泊10番地

- ① 開設年月日 昭和41年4月1日 (H31/4 旧議会棟(S42/4/1建設)へ移転)
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 428㎡
- ④ 事業内容等 ア 町民教室他各種学級講座等の開設・開催
イ 自主グループ等の活動支援

(2) 和泊町立図書館

TEL : 92 - 3033

和泊591

- ① 開設年月日 昭和55年5月1日
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 688㎡
- ④ 事業内容等 ア 図書資料の収集・整理・保存
イ 貸出業務, レファレンスサービスや課題解決支援の利用促進
ウ 各学校(児童・生徒, 教員, 学校図書館)への支援
エ 各年代に向けた読書普及活動

(3) 和泊町研修センター

TEL : 92 - 0805

根折1307

- ① 開設年月日 昭和57年4月1日
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 1,752㎡
- ④ 事業内容等 平成29年4月1日から公益社団法人「和泊町シルバー人材センター」へ維持管理及び運営を委託
ア 宿泊研修, 日帰り研修等の実施
イ レクリエーション, 野外活動の実施

(4) 和泊町歴史民俗資料館

TEL : 92 - 0911

根折1313-1

- ① 開設年月日 平成9年4月1日
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 819㎡
- ④ 展示内容 ア ユリの世界
イ 沖永良部の歴史とエラブユリ
ウ 沖永良部の自然・歴史・民俗

(5) 歴史観光交流館(西郷南洲記念館)

TEL : 92 - 0999

和泊587-3

- ① 開設年月日 平成23年7月18日
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 180㎡
- ④ 展示内容 ア 西郷隆盛と沖永良部
イ 西郷隆盛と島民とのかかわり

(6) あかね文化ホール(和泊中学校内)

TEL : 92 - 0030

手々知名130

- ① 開設年月日 平成12年12月
- ② 施設の構造 鉄筋コンクリート
- ③ 施設の規模 客席 250名

- ① 開設年月日 平成15年3月
② 施設の構造 鉄筋コンクリート

- 町内21字にそれぞれ鉄筋コンクリート造りの自治公民館が設置されている。学習活動や各種の集会に利用されている。

③ 実施可能競技

ア	野球	2面
イ	ソフトボール	4面
ウ	サッカー	2面
エ	ラグビーフットボール	1面
オ	グラウンドゴルフ	2面

- ③ 施設の規模 430m²

- ③ 施設の規模 110m²

- ③ 施設の規模 4立 96m²

- ③ 施設の規模 425m²

- ② 施設の規模 3面

- 児童・生徒の授業に支障のない範囲で、町民に町内4小学校、2中学校の学校体育施設を開放している。利用の多くは夜間に集中している。

施設利用状況

1 中央公民館

① 月別入館者数（令和5年度）

月	受付等	会議室	まなびい ほーる	和室	小会議室	地女連室	準備室	合 計
人 数 (件 数)								
4	458	10 (4)	55 (2)	0 (0)	25 (5)	8 (1)	0 (0)	556 (12)
5	146	136 (14)	158 (7)	43 (8)	30 (2)	18 (3)	3 (1)	534 (35)
6	163	198 (19)	141 (10)	56 (9)	1 (1)	8 (2)	56 (9)	623 (50)
7	147	315 (22)	135 (9)	63 (7)	38 (1)	0 (0)	33 (3)	731 (42)
8	109	120 (15)	33 (3)	0 (0)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	266 (19)
9	98	198 (20)	62 (6)	27 (7)	9 (3)	7 (2)	0 (0)	401 (38)
10	114	220 (20)	156 (14)	49 (11)	11 (2)	5 (1)	0 (0)	555 (48)
11	115	222 (20)	210 (13)	57 (7)	1 (1)	25 (2)	0 (0)	630 (43)
12	99	231 (22)	101 (8)	41 (7)	0 (0)	13 (2)	0 (0)	485 (39)
1	108	181 (21)	107 (15)	35 (6)	40 (6)	0 (0)	2 (1)	473 (49)
2	87	107 (13)	100 (8)	32 (6)	30 (8)	28 (3)	0 (0)	384 (38)
3	95	47 (10)	173 (6)	33 (7)	5 (2)	6 (1)	0 (0)	359 (26)
計	1,739	1,985 (200)	1,431 (101)	436 (75)	194 (32)	118 (17)	94 (14)	5,997 (439)

② 年度別町民教室開設状況

年 度	中央 教室	和 泊	手 々 知 名	上 手 々 知 名	喜 美 留	出 花	伊 延	畦 布	国 頭	西 原	根 折	玉 城	大 城	皆 川	古 里	内 城	瀬 名	永 嶺	仁 志	谷 山	後 蘭	合 計
H30	28	1	1	2					5						1				1			39
R01	26	1	1	3					4						1				1			37
R02	26	1	3	3					3										1			37
R03	22	1	3	3					1	1									1			32
R04	20	1	3	3					2										1			30
R05	17		3	3					2	1												26

令和5年度 公民館講座の開設状況

① 公民館講座一覧表（中央教室）

No.	講 座 名	講 師 名	申込者	修了者
1	けん玉チャレンジ教室	太 剛志	8	4
2	子どもの日本舞踊	内田 邦枝	8	4
3	アメリカンフラワー	村山 文枝	15	12
4	「歌って♪若返り」教室	清水 恵子	21	16
5	健 康	沖 まよ子	11	2
6	パソコン初心者講座	長野 久美	13	7
7	令和西郷塾	宗 淳・武 吉治	18	6
8	三味と島唄	秋田 茂穂	15	8
9	民 謡	福元 米子・池下 健雄	20	8
10	懐メロギター教室	山下 幸秀	15	4
11	パッチワークキルト	大山 キヌ子	13	9
12	ハンドメイド	東 千種	11	3
13	ソーイング	東 千種	18	5
14	UVレジン・七宝焼き（昼）	武 喜美栄	11	2
15	竹 細 工	伊集院 侃	11	5
16	日 本 舞 踊	川畑 昌子	13	8
17	茶 道（児童生徒・一般）	町田 康子	11	2
小 計			232	105

② 字教室

No.	字 名	講 座 名	講 師 名	申込者	修了者
1	上手々 知名	御天神クラブ	牧野 照代	11	9
2	〃	男性琉舞	牧野 照代	13	4
3	〃	子ども琉舞	牧野 照代	8	3
4	喜 美 留	琉舞しほら	福山 千都子	11	11
5	〃	与和の浜琉舞	福山 千都子	9	10
6	〃	いちやりばちょーで一	福山 千都子	9	8
7	国 頭	国頭生け花	福島 ミネ	11	10
8	〃	国頭着付け教室	先田 タケ子	18	9
9	和	なごみ会	山下 多賀子	10	2
小 計				100	66
中央講座・字講座 合 計				332	171

③ 公民館活動一覧表

月	行 事 名	備 考
4	令和5年度中央公民館講座受付（3日～14日まで）	中央公民館
	令和5年度中央公民館講座合同開講式（22日）	防災拠点施設やすらぎ館
	令和5年度中央公民館講座開講の案内掲示（24日～28日）	中央公民館
5	令和5年度中央公民館講座開講（8日～）	中央公民館
6	大島地区公民館連絡協議会（2日）	奄美市
	夏季親子特別講座申込受付（6月26日～7月7日） 「自由研究はおもしろい」	中央公民館
7	七夕飾り設置（3日～10日）	中央公民館 玄関
	夏季親子特別講座申込受付（16日） 「自由研究はおもしろい」	中央公民館
9	中央公民館特別講座申込受付（11日～25日） 「筆を楽しむ書道講座」	中央公民館
10	中央公民館特別講座申込受付（5日～） 「筆を楽しむ書道講座」	中央公民館
11	教育委員会所管施設訪問（15日）	中央公民館
2	令和5年度公民館講座合同閉講式（18日）	あかね文化ホール
3	令和6年度公民館講座開設準備	

令和6年度 公民館講座の開設状況

No.	講 座 名	講 師 名	受講者数
1	家族で学ぼう はじめてのプログラミング	上村 昌範	9
2	島うた・島むに・島の踊り	池下 健雄・中村 スエ 宮村 照美	15
3	俳句教室「えらぶの風」	福山 文乃	9
4	生花教室	町田 美奈子	9
5	懐メロギター教室	山下 幸秀	8
6	「歌って♪若返り」教室	清水 恵子	20
7	パソコン・インターネット初心者	長野 久美	12
8	令和西郷塾	和泊西郷南洲顕彰会	23
9	三 味 と 島 唄	秋田 茂穂	21
10	民 謡	福元 米子・池下 健雄	19
11	アメリカンフラワー	村山 文枝	14
12	パッチワークキルト	大山 キヌ子	12
13	ハンドメイド	東 千種	6
14	ソーイング	東 千種	11
15	UVレジン・七宝焼き（昼）	武 喜美栄	12
16	竹 細 工	伊集院 侃	12
17	日 本 舞 踊	川畑 昌子	11
18	初心者茶道教室(児童生徒・一般)	町田 康子	10
19	子ども琉舞	牧野 照代	6
20	男性琉舞	牧野 照代	14
21	御天神クラブ	牧野 照代	8
22	与和の浜琉舞	福山 千都子	10
23	いちゃりばちょーでー	福山 千都子	6
24	琉 舞 し ほ ら	福山 千都子	13
25	国 頭 生 花	福島 ミネ	8
26	国 頭 着 付 け	先田 タケ子	11
27	子どもの日本舞踊	内田 邦枝	7
28	な ご み 会	山下 多賀子	8
合 計			324

町立図書館利用状況

① 利用者数

単位：人

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
合 計	8,280	8,229	7,826	8,145	7,150

② 蔵書冊数

単位：冊

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
一 般	28,053	27,547	28,144	28,556	31,648
児童生徒	23,454	23,272	23,598	23,502	23,594
合 計	51,507	50,819	51,742	52,058	55,242

③ 蔵書の分類別冊数

単位：冊

0 総 記	731	5 技 術	2,275	郷土資料	2,617
1 哲 学	1,102	6 産 業	1,190	絵 本	8,859
2 歴 史	2,519	7 芸 術	4,751	そ の 他	3,108
3 社 会 科 学	3,573	8 言 語	710	合 計	55,242
4 自 然 科 学	2,857	9 文 学	20,980	うち児童書	23,594

④ 登録者数

単位：人

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
幼稚園以下	113	101	101	67	52
小 学 生	422	442	427	443	420
中 学 生	267	238	229	235	249
高 校 生	261	271	260	264	236
大学・専門学校	344	354	366	348	357
一 般	3,380	3,539	3,724	3,904	4,072
団 体	344	56	147	68	52
合 計	5,131	5,001	5,254	5,329	5,438

※ 一般には島外利用者も含む。

⑤ 図書貸出冊数

単位：冊

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
児童 生徒	12,269	12,619	12,297	11,118	7,792
一 般	18,702	20,480	18,826	15,754	10,735
移動図書館	5,743	4,585	4,752	5,033	5,781
団 体	5,785	6,085	6,077	7,469	5,158
相互貸借	22	33	46	33	18
合 計	42,521	43,802	41,998	39,407	29,484
町民一人当たり	5.74	5.99	6.00	6.40	4.91

⑥ 聴覚教材及び紙芝居貸出数

単位：枚

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
CD・DVD	61	36	45	19	33
紙 芝 居	659	500	534	290	233

⑦ 図書館管理費及び図書購入費

単位：千円

年 度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
図書館管理費	8,541	12,384	12,134	12,394	12,991
図 書 購 入 費	1,369	1,394	1,631	925	1,487

⑧ 令和5年度図書貸出者数

単位：人

年 度	個人	団体	合計
本 館	3,564	321	3,885
移動図書館	1,421	0	1,421
相互貸借	10	0	10
合 計	4,995	321	5,316

指 定 文 化 財

① 国指定

種 別	名 称	所在地	所有者等	指定年月日
天 然 記 念 物	オカヤドカリ	南西諸島	—	S45. 11. 12
〃	カラスバト	鹿児島県	—	S46. 05. 19

② 国登録

種 別	名 称	所在地	所有者等	指定年月日
登録無形民俗文化財	薩南諸島の黒糖製造技術	薩南諸島	—	R06. 03. 21

③ 県指定

種 別	名 称	所在地	所有者等	指定年月日
史 跡	和泊町の世之主の墓	内城	内城字	S41. 03. 11
無形民俗文化財	沖永良部島のヤッコ踊り	和泊町及び 知名町	沖永良部島 ヤッコ踊り保存会	H26. 04. 22
考 古 資 料	中甫洞穴出土品	和泊町, 知名 町, 鹿児島県	和泊町, 知名町 鹿児島県	R02. 04. 28
天 然 記 念 物	サキシマヌマエビ	地域を定めず指定	—	R03. 04. 23

④ 町指定

種 別	名 称	所在地	所有者等	指定年月日
絵 画	南洲翁肖像	西原	個人所蔵	S42. 04. 10
〃	狩野常信	和泊	個人所蔵	〃
工 芸 品	世徳堂	〃	個人所蔵	S50. 04. 01
〃	柱掛	〃	個人所蔵	〃
書 跡	川口雪簗の掛け軸	西原	個人所蔵	S42. 04. 10
〃	〃	〃	個人所蔵	〃
〃	〃	〃	個人所蔵	〃
〃	西郷南洲の掛け軸	和泊	個人所蔵	〃
〃	〃	喜美留	個人所蔵	〃
古 文 書	世之主かなし由緒書	手々知名	個人所蔵	〃
〃	在与中日記	上手々知名	個人所蔵	〃
〃	誥役系圖在番所	根折	和泊町	H11. 03. 14
〃	島役人の辞令書他	皆川	個人所蔵	H23. 12. 05
歴 史 資 料	西郷南洲遺品	国頭	個人所蔵	S42. 04. 10
建 造 物	内城小学校の旧奉安殿	内城	内城小学校	R01. 07. 05
有形民俗文化財	ノロの遺品	畦布	個人所蔵	S42. 04. 10
〃	〃	国頭	個人所蔵	〃
〃	提げ重一式	根折	和泊町	H23. 12. 05
〃	厨子甕	根折	和泊町	〃
無形民俗文化財	遊び踊り	手々知名	手々知名保存会	S42. 04. 10
〃	獅子舞	畦布	畦布保存会	〃
〃	せんする節	〃	〃	〃
〃	忍び踊り	国頭	国頭伝承舞踊保存会	〃
〃	竿打踊（五尺踊）	〃	国頭芸能保存会	〃
〃	収納米踊り	永嶺	永嶺保存会	〃
〃	やっこ	国頭	国頭芸能保存会	H08. 03. 15
〃	仲里節	玉城	玉城芸能保存会	〃
史 跡	世之主の城跡	内城	和泊町	S42. 04. 10
〃	後蘭孫八の城跡	後蘭	個人所有	〃
〃	畦布北海岸の古墳（1～4号）	畦布	個人所有	〃
〃	ニャーグバカ・フーグスクバカ	皆川	皆川字	R01. 07. 05
天 然 記 念 物	国頭小学校の榕樹	国頭	国頭小学校	S42. 04. 10
名 勝	瀬名半崎黒瀬付近一帯	瀬名	—	〃
〃	喜美留笠石一帯	喜美留	—	〃
〃	国頭フーチャ	国頭	—	〃
〃	国頭美瀬の浜一帯	64	—	〃

附 属 機 関

① 社会教育委員

議 長 宗 武 彦

副 議 長 喜 井 幸 子

任 期 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

No.	氏 名	備 考
1	岩 戸 孝 夫	小学校長代表
2	税 所 篤 哉	中学校長代表
3	徳 留 健 作	沖永良部高等学校長
4	長 田 留 美 子	こども園代表
5	徳 愛 子	文化協会代表
6	榮 修 司	体育協会代表
7	本 部 忠 孝	長寿クラブ連合会代表・西郷南洲顕彰会代表
8	喜 井 幸 子	地域女性連絡協議会代表
9	末 川 航	連合青年団代表
10	中 田 勝 巳	子ども会育成連絡協議会代表
11	皆 村 正 樹	P T A 連絡協議会代表
12	山 田 洋 文	区長会代表
13	中 原 優 樹	スポーツ推進委員会代表
14	伊 地 知 芳 弘	商工会代表
15	村 山 稔	社会福祉協議会代表
16	宗 武 彦	学識経験者(学校教育・社会教育)
17	池 田 正 一	議会代表
18	秋 田 茂 穂	中央公民館講師代表
19	小 山 ミ ナ 子	読書グループ代表

② 文化財保護審議会

会 長 宗 武 彦

副 会 長 永 吉 由 美 子

任 期 令和 5 年 4 月 1 日
～ 令和 7 年 3 月 31 日

No.	氏 名
1	宗 武 彦
2	永 吉 由 美 子
3	秋 田 茂 穂
4	前 田 和 義
5	皆 吉 泰 智
6	浅 野 舞 子

③ スポーツ推進委員

会 長 大 福 和 寛

任 期 令和 6 年 4 月 1 日
～ 令和 8 年 3 月 31 日

No.	氏 名
1	大 福 和 寛
2	中 原 優 樹
3	新 納 佳 恵
4	池 田 照 泰
5	中 山 優
6	末 川 広 喜
7	末 川 航
8	武 美 波
9	西 谷 麻 巳
10	中 野 渉

関 係 団 体

① 和泊町子ども会育成連絡協議会 会長 中田 勝巳 事務局 生涯学習係

構成員58名

役員(会長1名, 副会長2名, その他4名) 字育成会長 21名

青少年育成推進員 7名 各学校生徒指導主任 7名 顧問 16名

予算 2,322千円 うち町補助金 1,540千円 会費 一戸 200円×0.8

主な活動

協議会 年3回

リーダー研修会等 年1回

ふるさと美化活動 7月, 8月

「えらぶ世之主伝説」わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト 12月ほか

子ども会大会 2月

小規模子ども会支援・交流事業 随時

青少年育成の日の推進

② 和泊町校外生活指導連絡協議会 会長 税所 篤哉 事務局 和泊中学校

構成員33名

各学校長 6名 生徒指導主任 6名 PTA会長 6名

冲高PTA代表及び生徒指導主任 2名

町子ども会育成連絡協議会役員 3名

青少年育成推進員 7名

教育委員会事務局 1名

顧問 2名

予算 144千円 うち町補助金 52千円

主な活動

協議会 年2回

長期休業中の巡回夜間補導(夏, 冬)

③ 和泊町PTA連絡協議会 会長 皆村 正樹 事務局 大城小学校

役員(各学校PTA会長, 副会長, 校長, 教頭で構成)

予算 1,045千円 うち町補助金420千円 会費 各学校PTA一戸200円

主な活動

総会・全体会 5月

町PTA連絡協議会研究大会 隔年開催(11月)

上部団体の会議, 研修会への参加 年3回

④ 和泊町連合青年団 団長 末川 航 事務局 生涯学習係

役員(会長1名, 副会長2名, 理事5名)

予算 538千円 うち町補助金342千円

主な活動

キッズファッションショー 8月

サンタ大作戦 12月

長寿クラブとのスポーツ交流会 2月

ジョギング大会完走パーティー 3月

⑤ 和泊町地域女性連絡協議会(令和6年度)

会長 喜井 幸子

会員数 253名

予算 1,563千円のうち町補助金 797千円

町役員

役員		氏名
会長		喜井 幸子
副会長		森 瑞絵
		山下 美佳代
書記		宇都宮 かおり
会計		大里 裕見子
体育部長		松下 敦代
体育副部長		武 喜美栄
校 区 会 長	和泊	池下 典子
	国頭	葉棚 美津乃
	大城	大山 由喜子
	内城	遠藤 江梨子
監 事	喜井 静・脇田 美佳子	
	川村 真弓・沖 久子	

字役員

字名	会員数
和泊北	26
和泊南	14
和	1
手々知名	33
上手々知名	1
喜美留	30
畦布	13
国頭	42
西原	15
出花	1
根折	12
玉城	18
皆川	8
古里	5
内城	13
後蘭	1
谷山	7
瀬名	6
仁志	7
合 計	253

⑥ 和泊町文化協会 会長 山下 幸秀

加盟字21字 加盟団体24団体 予算1,750千円 うち町補助金972千円

令和6年度文化協会役員

会費 一戸 200円×0.8

職 名	氏 名
会 長	山下 幸秀
副会長	徳 愛子
〃	前田 修一
書 記	喜井 幸子
会 計	末川 航
監 事	大坪 克美
〃	池畑 由美子
事務局	太 剛志

主 な 行 事	月
港まつり前夜祭	8月
月見で野あしび	9月
大島地区広域文化祭	11月
沖永良部音楽コンクール	12月
子ども芸能発表会	2月
文化と福祉の作品展	2月
南三島文化協会・文化行政担当者研修会	2月

No.	団 体 名	代 表 者 名	会員数	加盟年月日	設立年月日
1	和泊町民謡同好会	池 下 健 雄	14	S51. 12. 15	S50. 4. 25
2	手々知名遊び踊り保存会	大 坪 克 美	23	S51. 12. 16	S37. 10. 1
3	国頭芸能保存会	西 村 重 仁	25	S52. 11. 27	S43. 5. 10
4	コーラス芭蕉	大 福 和 子	10	S56. 10. 21	S55. 5. 1
5	玉城芸能保存会	前 田 文 江	13	S59. 12. 15	S56. 11. 22
6	山下民謡研究所	山 下 幸 秀	10	S60. 4. 1	S54. 9. 6
7	綾木流秀豊衛会	徳 愛 子	14	S60. 4. 1	S58. 11. 27
8	花柳流風舟会	内 田 邦 枝	15	S60. 4. 1	S50. 4. 1
9	国頭芸能好友会	秋 田 茂 穂	10	S62. 6. 4	S60. 12. 1
10	玉城流玉扇会	牧 野 照 代	30	H11. 4. 1	H8. 1. 3
11	藤加那会	先 田 操	8	H8. 11. 29	H8. 5. 1
12	手話ダンス友の会	瀬 川 兼 代	10	H11. 5. 13	H6. 3. 1
13	琉球國祭り太鼓 沖永良部支部	牧 野 照 代	39	H13. 6. 1	H9. 6. 14
14	和泊舞踊同好会	西 カ ツ エ	8	H15. 5. 28	H14. 5. 1
15	ほうらしゃ会	大 福 利 雄	16	H16. 5. 21	H15. 3. 5
16	国頭伝承舞踊保存会	池畑 由美子	20	H18. 4. 1	H15. 8. 1
17	うるま音楽協会	山下 多賀子	20	H22. 5. 14	H20. 10. 30
18	読書ボランティアサークル	小山 ミナ子	27	H23. 5. 20	H15. 12. 1
19	喜美留保存舞踊会	喜 井 幸 子	8	H23. 5. 20	H20. 4. 1
20	畦布伝承舞踊保存会	三 島 秀 俊	25	H23. 5. 20	S63. 8. 28
21	劇団がじゅまる	梶 原 景 之	44	H29. 4. 1	H28. 9. 1
22	山田明ほうらしゃ人生一座	山 田 明	11	R2. 4. 1	H21. 9. 1
23	えらぶフォト倶楽部	太 剛 志	10	H28. 6. 2	H28. 4. 1
24	島ムニむんちゃの島ムニ保存会	田 中 美 保 子	10	R5. 8. 30	R5. 8. 30
休会	世之主うるまエイサー	—	—	H5. 5. 1	H5. 5. 1
休会	笠石陶芸友の会	—	—	H13. 6. 1	H12. 10. 1
計			407		

⑦ 和泊町スポーツ協会

会長 大坪 繁 事務局 生涯学習係 加入者21人 競技連盟22団体
 予算 2,225千円 うち補助金 671千円 会費 一戸500円×0.8

役 職	氏 名
会 長	大坪 繁
副 会 長	榮 修司
理 事 長	村榮 政美
副理事長	島田 浩樹
競技審判部長	平 隆成
事務局長	永井 徹
書 記	名越 直樹
書 記	堀江 勇泉
会 計	白峯 真一
監 事	町田 学
監 事	上別府 勁

主な行事	
総 会	4 月
大島地区大会	7 月
県民スポーツ大会	9 月
町民スポーツ大会	10月
大島地区駅伝大会	12月
町内一周駅伝大会	1 月
島内一周駅伝大会	2 月

各 競 技 連 盟 代 表	
陸 上	町田 学
バレーボール	山元 博文
バスケットボール	上別府 立
サッカー	白峯 真一
ラグビー	大江 吉郎
バドミントン	池田 亮
ソフトテニス	高峰 雄太
卓 球	前田 浩輝
野 球	今井 幸喜
ソフトボール	川島 龍也
ゲートボール	前 幸貴
柔 道	泉 義仁
剣 道	休止中
弓 道	前田 睦也
空手道	前 英樹
相 撲	常山 えりか
グラウンドゴルフ	森 富隆
硬式テニス	武 吉治
ハンドボール	休止中
ゴルフ	菅村 哲夫
自転車競技	大吉 正勝
水 泳	休止中

⑧ 和泊町スポーツ少年団

本部長 中田 勝巳

主な行事 4月総会 5・6月町内交歓大会(サッカー・バレー) 7月地区交歓大会 11月体力テスト

本部長	中田 勝巳	元気！わどまりクラブ
副本部長	山下 信輔	指導者連絡協議会長兼和泊野球
理事	平山 聖晃	空手道
	島田 浩樹	大城サッカー
	平山 烈士	越山Jrバレー
	中村 太輔	国頭サッカー
	久松 辰実	和心館相撲
	永野 敏樹	内城サッカー
	有川 伸也	SC和泊
	大坪 繁	レスリング
	西村 勝	和泊野球（リリーズ）
	名越 直樹	国頭バレー
	休止中	和泊剣道
	北原 茂敏	柔道
	平山 烈士	和泊男子バレー
	川畑 哲也	和泊小バレー
事務局長	永井 徹	教育委員会事務局長
書記	名越 直樹	教育委員会事務局次長
書記	堀江 勇泉	教育委員会事務局係長
会計	西谷 麻巳	元気！わどまりクラブ

所属名	団員数			指導者
	男	女	計	計
空手道	7	5	12	2
大城サッカー	11	1	12	2
越山Jrバレー	6	16	22	2
国頭サッカー	10	2	12	1
和心館相撲	4	1	5	1
内城サッカー	11	0	11	2
SC和泊	46	0	46	4
レスリング	8	2	10	2
和泊野球（リリーズ）	11	0	11	2
国頭バレー	16	15	31	4
和泊剣道	－	－	－	－
柔道	13	8	21	1
和泊男子バレー （ビーチバレー）	17	0	17	2
和泊小バレー	9	32	41	3
計	169	82	251	28

⑨ 総合型地域スポーツクラブ「元気！わどまりクラブ」

予算 9,492千円 うち町補助金 4,898千円

会費 1,090千円

主な活動 巡回幼児体操指導・ジュニア大会開催・わらんちゃスポーツクラブ・スー
パーキッズ

各教室:ミニバレー・幼児体操・バトミントン・ダンス・太極拳・健康ヨーガ

Jr:サッカー・バレー・空手道・相撲・剣道・レスリング・柔道・野球

運営委員会委員

	氏 名	役 職	備 考
1	東 伸 昭	顧問	元気！わどまりクラブ元会長
2	中田 勝巳	会長	スポーツ少年団本部長
3	大 坪 繁	副会長	スポーツ協会長
4	大福 和寛	理事長	スポーツ推進委員会長
5	川添 英雄	副理事長	和泊町バレーボール連盟
6	山下 信輔	理 事	スポーツ少年団副本部長
7	永 井 徹	理事兼事務局長	教育委員会事務局長
8	名越 直樹	理事兼事務局次長	教育委員会事務局次長
9	宮原 昭夫	専門部会	国頭ミニバレー
10	村榮 真利江	専門部会	ママさんバレー
11	山田 大護	専門部会	ボクシングクラブ
12	川間 勇二	専門部会	美ら友バレー
13	西田 鷹之	専門部会	和泊バレー同好会
14	大福 秀子	専門部会	太極拳
15	三島 才輝	専門部会	FEED BACK（ダンス教室）
16	沖野 マスノ	専門部会	健康ヨーガ
17	上別府 勁	監事	スポーツ協会
18	白峯 真一	監事	スポーツ協会
19	西谷 麻巳	会計兼事務局	地域おこし協力隊 スポーツアドミニストレーター
20	堀江 勇泉	事務局	教育委員会事務局係長
21	武 美波	事務局	元気！わどまりクラブ

⑩ 和泊西郷南洲顕彰会

予算 758千円 うち町補助金 400千円 会費 1,000円 会員数 206名

主な活動 西郷精神の継承・南洲翁を偲ぶ会・西郷関連施設清掃活動

役 職	氏 名	備 考
常任顧問	竿田 富夫	国頭
会長	伊地知 実利	喜美留
副会長	本部 忠孝	和泊
〃	本部 輝久	和泊
〃	朝戸 智子	和泊
書記・会計	川上 富洋	国頭
監事	高田 清蔵	喜美留
〃	武 吉治	仁志
世話人	東郷 重毅	和泊
〃	本部 忠孝	和泊
〃	源 幸次	和泊
〃	大福 利雄	和泊
〃	森 富隆	和泊
〃	村田 彰	和
〃	村田 健二	和
〃	福山 元子	手々知名
〃	児玉 実隆	手々知名
〃	沖 充	手々知名
〃	伊集院 周克	上手々知名
〃	高田 清蔵	喜美留
〃	泉 義仁	出花
〃	森 晃	畦布
〃	東 秀光	伊延
〃	石原 茂仁	国頭
〃	芋高 生三	国頭
〃	池田 正一	国頭
〃	林 一孝	西原
〃	大山 政照	根折
〃	前 幸貴	玉城
〃	前田 勇	玉城
〃	美野 忠徳	皆川・古里
〃	宗 淳	内城
〃	沖田 利雄	瀬名
〃	川平 健勇	永嶺
〃	前田 重治	後蘭
〃	武 吉治	仁志
〃	林 義仁	役場

役 職	氏 名	備 考
相談役	前 登志朗	町長
〃	永野 利則	議長
〃	竹下 安秀	教育長
〃	山田 明	商工会長
〃	大坪 繁	体育協会長
〃	永井 徹	教育委員会事務局長
参与	池田 裕一郎	和泊小 校長
〃	柴田 浩	和泊小 教頭
〃	伊口 裕喜	国頭小 校長
〃	西村 慎哉	国頭小 教頭
〃	根釜 恵理子	大城小 校長
〃	古木 哲	大城小 教頭
〃	岩戸 孝夫	内城小 校長
〃	松崎 洋樹	内城小 教頭
〃	税所 篤哉	和泊中 校長
〃	川口 智洋	和泊中 教頭
〃	吉永 美利	城ヶ丘中 校長
〃	早崎 宣仁	城ヶ丘中 教頭
事務局	名越 直樹	教育委員会事務局次長
〃	村山 英哲	中央公民館
〃	遠藤 聖香	〃
〃	宗 淳	西郷南洲記念館
〃	川上 富洋	〃(会計兼)

⑪ 和泊町総合交流施設建設を更に推進する会

主な活動

和泊町総合交流施設の建設事業に関して、新たな知見から必要な事項を審議する。

運営委員会委員

	氏 名	役 職	備 考
1	古村 英次郎	会長	町づくりコンサルタント 有識者
2	徳田 英輔	副会長	前推進委員会委員 教育委員・子ども子育て会議会長
3	前田 純也	委員	ELOVE理事長
4	川添 英雄	委員	前推進委員会委員
5	西 温子	委員	観光部門 有識者
6	中野 譲	委員	スポーツ指導者 スポーツ推進委員
7	新納 佳恵	委員	子育て支援 スポーツ推進委員
8	池田 照泰	委員	福祉部門 スポーツ指導者
9	立元 颯	委員	若者代表

⑫ 和泊町の歩み編さん事業審議会

主な活動

町長の諮問に応じて、歩み編さん事業計画・歩み編さん進捗状況等重要事項について審議決定し、町長に意見を答申する。

	氏 名	役 職	備 考
1	永野 利則	会長	和泊町議会議長
2	川畑 裕一	副会長	和泊町副町長 和泊町の歩み編さん委員（商工・観光業）
3	竹下 安秀		和泊町教育長
4	林 義仁		和泊町役場総務課長
5	永井 徹		和泊町教育委員会事務局長
6	名越 直樹		和泊町教育委員会事務局次長
7	皆村 武一		和泊町の歩み編さん委員会委員長同 近現代編執筆リーダー
8	宗 武彦		和泊町文化財保護審議会委員長 和泊町の歩み編さん委員会副委員長 同 自然編執筆リーダー
9	前田 修一		和泊町の歩み編さん委員会町制施行後の和泊町編執筆リーダー
10	先田 光演		和泊町の歩み編さん委員会中世編執筆リーダー
11	伊地知 裕仁		和泊町の歩み編さん委員会近世編執筆リーダー
12	北野 堪重郎		和泊町の歩み編さん委員会考古学編執筆リーダー
13	徳田 英輔		おきのえらぶ島観光協会会長

⑬ 歩み編さん委員会

担当分野	年代・分野等	執筆者名	所属
考古学の成果 から見える 和泊町	通史	北野 堪重郎	和泊町教育委員会事務局
	縄文・弥生・古墳	新里 貴之	沖縄国際大学准教授
	古代・中世・近世	新里 亮人	熊本大学院准教授
中世期 の和泊町	中世	先田 光演	和泊町の歩み執筆編集員
	伝説	原田 信之	新見公立大学教授
	今帰仁とエラブ	仲原 弘哲	今帰仁村歴史文化センター元館長
近世期の和泊町	近世	伊地知 裕仁	和泊町歴史民俗資料館専門員
近現代の和泊町	近現代	皆村 武一	鹿児島大学名誉教授
町制施行以降 の和泊町	行政・防犯・消防、環境衛生、子育て、医療・保健衛生・福祉、運輸、電気・通信、土木、建築、上下水道	前田 修一	和泊町元副町長（元総務課長）
	議会	中田 隆洋	和泊町議会議員
	商工・観光業	川畑 裕一	和泊町副町長（元企画課長）
	農業・水産業・農地整備	大福 勇	沖永良部花き専門農業協同組合指導監（元経済課長）
	教育	平山 和仁	シルバー人材センター理事長（和泊町教育委員会元事務局長）
和泊町 (沖永良部島) の自然	昆虫・陸産貝類	宗 武彦	和泊町教育委員
	地質(島の成り立ち～地質)	新城 竜一	総合地球環境学研究所教授／琉球大学教授
	動物	鮫島 正道	鹿児島大学元客員教授
	植物	新納 忠人	知名町文化財保護審議委員
	魚類	本村 浩之	鹿児島大学教授，総合研究博物館

教育要覧

令和 6 年 9 月

編集発行 和泊町教育委員会

印 刷 (有)たまり文具店